

年 報

—平成 26 年度—

2015

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

平成 26 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

開館から 26 年目を迎えた平成 26 年度は、大きな転換期を印象づける 1 年間でした。旧吉田茂邸再建事業が大磯町産業観光課から移管され、再建工事に着手した他、大磯町の関係部署職員で構成する再建検討会議において再建後の利活用等について検討を図りました。また、当館の常設展示リニューアルについても実施設計を完了し、平成 27 年度からは工事に着手する予定です。

一方で博物館活動においても積極的に活動を進めた 1 年でした。学級・講座は、継年的に実施している「大磯自然観察会（平成 11 年度開始）」、「海の教室（平成 12 年度開始）」、「古文書裏打クラブ（平成 16 年度開始）」、「海の森クラブ（平成 22 年度開始）」、「石仏クラブ（平成 23 年度開始）」、「古文書解読クラブ（平成 24 年度開始）」の他に、民俗調査「昔の遊び調査隊」、合併 60 周年記念事業ワークショップ「大磯町の移り変わりを探してみよう」を実施しました。8 種類の学級・講座を展開したことで、学級・講座の 1 年間の延べ回数は平成 25 年度の 51 回から 73 回に増えました。また、企画展についても例年のペースを維持し、5 本の展示を実施しました。

当館にとっては数十年に一度の転換期を迎えています。26 年間の蓄積をもとに、醸成された新しい大磯町の博物館として、歩みを進めるよう努めていきたいと存じます。引き続き、ご理解・ご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目 次

[事業報告]

庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	2
・維持管理	3
・入館者	3
学芸	4
・企画展	4
・学級・講座	7
・リニューアル推進事業	10
・学校教育との連携	11
・他の博物館・生涯学習施設との連携	12
・ホームページを活用した情報発信	12
・刊行物	12
・調査・研究・普及	13
・博物館実習	16
・博物館資料の収集、整備、利用	17
旧吉田茂邸再建事業	31
・大磯町旧吉田茂邸再建検討会議	31
・資料作成	32
・旧吉田茂邸再建着工・御礼と報告の会	32

[研究報告]

大磯町における関東大震災の地域的な被害と地盤の関係	
富田 三紗子	34
郷土資料館講座『海の森クラブ』の活動について	
高山 優美	38

事業報告

庶 務

■ 組織および職員

教育長	教育部長	生涯学習課長	郷土資料館	副主幹／学芸員	北水 慶一
藤家 崇	相田 輝幸	佐川 和裕	館長 國見 徹	主査／学芸員	鈴木 一男
				主事／学芸員	富田三紗子
				主事補	曾根田貴子 (～9月5日)
				主事補	山口 佳織
				臨時職員／司書	諏訪部房代
				臨時職員／自然観察指導員	高山 優美
				臨時職員／学芸員	保坂 匠
				臨時職員／学芸員	菊地 悠介
				臨時職員	名取 淳子

■ 運営委員会

<委員の構成>

- ・委員長／近藤 英夫 (学識経験者)
- ・副委員長／稲葉 和也 (家庭教育の向上に資する活動を行なう者)
- ・委員／広谷 浩子 (学識経験者)
新見由美子 (社会教育関係者)
池田伊三郎 (学校教育関係者)

<委員会の開催>

- ・第1回／平成26年7月16日
 - 議題1 平成25年度事業報告について
 - 議題2 平成26年度事業進捗状況について
 - 議題3 旧吉田茂邸再建について
 - 議題4 展示リニューアルについて
 - 議題5 企画展「相模湾のウミガメ」について
- ・第2回／平成26年11月26日
 - 議題1 平成26年度事業進捗状況について
 - 議題2 展示リニューアルについて
 - 議題3 旧吉田茂邸再建について
 - 議題4 企画展「地図と風景写真から見る大磯」について
- ・第3回／平成27年3月11日
 - 議題1 平成26年度事業進捗状況について
 - 議題2 平成27年度事業計画について
 - 議題3 展示リニューアルについて
 - 議題4 旧吉田茂邸再建について

■ 予算

<当初予算の推移>

事業	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
金額	44,911,000	46,633,000	40,956,000	43,650,000	46,587,000	200,095,000

<平成26年度決算>

事業	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	リニューアル推進	旧吉田茂邸再建	計
金額	4,418,292	12,697,787	2,992,740	1,091,649	11,976,376	62,409,187	95,586,031

□ 職員給与 (6人分) 31,123,239円 ■ 歳出合計 126,709,270円

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株)郵生
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株) 横浜営業所
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・空調機器給水設備保守委託／(株)根布工業
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業(有)
- ・自家用電気工作物保守委託／吉川電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／(株)ヒラボウ
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ 厚木支店

<修繕>

- ・ハロゲン化物消火設備容器弁及びハロン容器更新工事／(株)河本総合防災厚木支店
- ・休憩室窓枠及び床腐朽被害修繕／成瀬産業(株)
- ・電話交換機局線パッケージ修繕／東陽工業(株)
- ・可動式展示ケース内 照明器具修繕／(株)丘電機
- ・計数カウンター交換修繕／(株)神奈川ナブコ
- ・女子便所フラッシュバルブ修繕／(株)根布工業

■ 入館者

<入館者数の推移>

単位：人、日

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	累計(昭和63年～)
入館者数	29,789	27,049	25,349	29,179	30,335	851,453
1日平均/開館日数	102/291	93/291	86/295	101/290	102/296	112/7,605

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,472	3,151	1,578	2,361	2,480	2,123	2,964	3,813	1,660	1,932	2,590	3,211	30,335
1日平均	99	121	66	91	95	88	114	153	72	84	113	128	102

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	4	3	4	2	2	2	4	1	1	1	2	31

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	13	10	12	13	7	9	10	7	7	9	11	116

■ 企画展

企画展『収蔵動物標本展』

期 間／平成 26 年 4 月 27 日（日）～6 月 15 日（日）

開場日数／41 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 100 点

料 金／無料

入場者数／4, 224 人

（趣 旨）郷土資料館では平成 26 年度 3 月現在で 162 点の剥製と 13 点の骨格標本を保管している。標本の原資料の多くは大磯町で拾得したものであるが、中には県内の他市町で拾得したものも含まれる。いずれも拾得地周辺に生息していたことを示す貴重な資料である。

本展では館所蔵の哺乳類、鳥類、ハ虫類、魚類の剥製や全身骨格標本を約 100 点展示する。展示をとおして大磯町および原資料拾得地域の生物相を概観する機会とする。

（内 容）「鳥類本剥製」、「哺乳類本剥製」、「ハ虫類・魚類本剥製」、「全身骨格標本」の 4 つのテーマに分けて紹介した。展示する標本は資料的価値の高い資料、近年受け入れた未公開の資料を中心に選出した。

（担 当）北水・高山



企画展『相模湾のウミガメ』

期 間／平成 26 年 7 月 12 日（土）～9 月 23 日（火）

開場日数／61 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 100 点

料 金／無料

入場者数／5, 663 人

（趣 旨）大磯町では 2001 年以降、アカウミガメの産卵・孵化が 5 回確認されている。また、ストランディング（死体漂着）については、2001 年以降、63 個体が本町の海岸で確認されている。本展ではこうした確認事例をとおして、相模湾で確認されているウミガメの種類と生態について学ぶ機会とする。

（内 容）「相模湾で確認されているウミガメの種類と生態」、「大磯町におけるアカウミガメ産卵・孵化の記録」、「大磯町におけるウミガメ ストランディング（死体漂着）の記録」の 3 つのテーマに分けて紹介した。

1) 相模湾で確認されているウミガメの種類と生態

相模湾では、これまでにアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ、オサガメの 4 種類のウミガメが確認されている。大磯町では 2001 年以降、4 種類とも記録がある。それぞれの剥製をとおして、大きさや形態を理解していただくとともに、食性や産卵活動等に触れ、生態について理解を促した。

2) 大磯町におけるアカウミガメ産卵・孵化の記録

2002 年、2004 年、2009 年、2010 年に本町海岸で見られたアカウミガメ産卵・孵化の記録を写真をとっておして紹介した。



3) 大磯町におけるウミガメ ストランディング（死体漂着）の記録

本町海岸では 2001 年以降、63 個体の漂着死体が確認されている。記録をもとに漂着の多いウミガメの種類、漂着の多い時期や場所等の情報を紹介した。

（担 当）北水・高山

大磯町合併 60 周年記念企画展『地図と風景写真から見る大磯』

期 間／平成 26 年 10 月 11 日（土）～12 月 7 日（日）

開場日数／48 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室、廻廊

出品点数／約 160 点

料 金／無料

入館者数／6,619 人

（趣 旨）大磯町合併 60 周年企画「大磯の景観再発見プロジェクト」の一環として開催する。本企画は、合併した 60 年前と現在の町の様子が大きく変わったことに注目し、写真を手がかりとして、その変化を町民と共に調査し、後世に伝える情報として記録することを目的としている。本企画展では、4～9 月にかけて開催したワークショップ「大磯町の移り変わりを探してみよう」の調査結果を中心に発表し、町内の変化を紹介する。

（内 容）現在の大磯町が形成された過程を、古地図と風景写真を展示することによって紹介する。「写真で見る 60 年の変化」、「地図で見る合併前の大磯」、「地形図で見る 60 年の変化」の 3 つのテーマ構成とする。また、大磯町合併 60 周年企画「大磯の景観再発見プロジェクト」の一環として開催した青少年おもしろ講座①「コンピューターで未来の大磯を描いてみよう」で作成したアニメーション作品を紹介する。

◇各テーマの詳細

1) 「写真で見る 60 年の変化」

内 容：ワークショップ「大磯町の移り変わりを探してみよう」で比較検討した風景の変化を、写真によって展示紹介する。

展示資料：合併当時（昭和 30 年代）の風景写真、ワークショップ「大磯町の移り変わりを探してみよう」で撮影した現在の風景写真、航空写真 など

2) 「地図で見る合併前の大磯」

内 容：明治から戦前期までの大磯や国府を描いた絵図および地図を紹介し、町の成り立ちの変化を解説する。

展示資料：「相陽大磯駅全図」等明治から戦前期の鳥瞰図や地図 など

3) 「地形図で見る 60 年の変化」

内 容：合併後から現在にかけて国土地理院から発行された地形図を展示することにより、町の変化を紹介する。

展示資料：「1:25,000 地形図 横須賀 9 号平塚の 3 平塚」等の二万五千分の一地形図

（担 当）富田

企画展『大磯町の文化財』

期 間／平成 27 年 1 月 6 日（火）～2 月 28 日（土）

開場日数／46 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 70 点

料 金／無料

入館者数／4,522 人

（趣 旨）地域の貴重な歴史、文化、自然を継承し、後世に伝えていくため、文化財の保護事業が進められている。本町は小



さな町でありながら、豊かな自然が残され、また、歴史資産、文化資産ともに豊富な地域である。町内に所在する文化財を概観し、広く文化財保護の意義を学習するため、企画展「大磯町の文化財」を開催する。また、本展では継続的に修復が進められてきている高来神社神像、古絵図、埋蔵文化財調査出土鉄製品の一部公開も目的のひとつとする。

（内 容）大磯町の指定文化財等を紹介する。有形文化財、無形民俗文化財、史跡、天然記念物などに指定されている資料や写真、関連資料を展示する。

〔主な展示資料〕

〔有形文化財〕 高麗寺村領地絵図、高来神社の神像

〔無形民俗文化財〕 大磯の左義長、国府祭、西小磯の七夕行事、大磯御船祭、高麗の山神輿、白岩神社祭礼に関する資料

〔埋蔵文化財〕 坂田山南横穴墓群出土遺物

〔天然記念物〕 高麗山の自然林、鷹取神社の社叢林、大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地、宝積院のカヤ、六所神社の樹林、稲荷神社の樹林を概観する資料

（担 当）北水・保坂・富田・國見

企画展「昭和の子供たちー子供の遊びとくらしー」

期 間／平成 27 年 3 月 21 日（土）～5 月 10 日（日）

開場日数／42 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 500 点

料 金／無料

入館者数／4,740 人

（趣 旨）第 2 次世界大戦や戦後の経済成長による生活形態の急激な変化は、子供の生活や遊びにも大きな影響を与えた。当館において収蔵している昭和期に使用されたおもちゃや節句人形などを紹介し、ワークショップ「昔の遊び調査隊」による、町内の昔の遊び聞き書き調査結果を発表することにより、昭和の遊びを通じた子供の生活環境の変化を追究する。

（内 容）昭和期における子供の遊びとくらしを次の各テーマに沿って紹介した。

◆各テーマの詳細

1) くらしの移り変わり

内 容：子供のくらしの移り変わりを、戦中から戦中、昭和 30 年代（第 1 次ベビーブーム世代）、昭和 50 年代（第 2 次ベビーブーム世代）、現在の 4 つに分けて紹介した。

展示資料：子供服やおもちゃ（材料の変化が分かるモノ）、当時の雑誌や教科書類

2) 子供と年中行事

内 容：年中行事と子供の関わりについて解説した。

展示資料：節句人形、祝い着など

3) 昔の遊び 4) 植物の遊び

内 容：ワークショップ「昔の遊び調査隊」および「大磯自然観察会」を通して行った、遊びに関する調査結果をまとめて発表した。

展示資料：調査中に聞かれたおもちゃ、竹馬、アンケート結果をまとめたパネル、写真パネル

5) 昭和の道具

内 容：昭和 30 年代頃に使われていた家具や道具を展示した。

展示資料：電気冷蔵庫、洗濯機、白黒テレビなど

6) 生きものコーナー

内 容：昭和期の子供たちが、遊びで捕獲したというドジョウとザリガニの生体展示を行った。

展示資料：ドジョウ、ザリガニ

7) 思い出掲示板

内 容：来館者が体験した遊びを、模造紙に付箋を貼付するかたちで発表する、思い出掲示板をつくった。195 枚の付箋が貼られ、その内、遊びに関するものは 45 枚、展示に対する意見は 12 枚であった。

（担 当）保坂・富田



■ 学級・講座

<古文書裏打クラブ>

① 通常講座

期 日／平成 26 年 4 月 19 日(土)、5 月 17 日(土)、6 月 21 日(土)、7 月 19 日(土)、8 月 16 日(土)、9 月 6 日(土)、11 月 15 日(土)、12 月 20 日(土)、平成 27 年 1 月 17 日(土)、2 月 21 日(土)、3 月 21 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏

参加人数／延 126 人

(内 容)裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行なうワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成 16 年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。会員を随時募集し、今年度は 1 名の新規入会があった。なお、9 月、11 月については、通常講座として作業を進める一方で、博物館実習生を対象とした体験講座、一般を対象とした公開講座として開催した。



② 博物館実習体験講座

期 日／平成 26 年 9 月 6 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打クラブ会員

体験者数／2 人

(内 容)博物館学芸員資格を取得するために当館において実習中の博物館実習生を対象に、実習カリキュラムの一環として開催した。古文書裏打クラブの会員による指導で、のり作りから裏打ちまでの全工程の体験実習を行なった。

③ おおいそ文化祭・古文書裏打ち体験

期 日／平成 26 年 11 月 15 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／古文書裏打クラブ会員

体験者数／1 人(見学者 2 人)

(内 容)おおいそ文化祭の参加行事の一つとして、一般の方を対象に古文書裏打ち体験会を開催した。希望者には実際に裏打ち作業を体験していただいた。

(担 当) 富田・保坂

<古文書解読クラブ>

期 日／平成 26 年 4 月 12 日(土)、5 月 3 日(土)、6 月 7 日(土)、7 月 5 日(土)、8 月 2 日(土)、9 月 20 日(土)、10 月 4 日(土)、11 月 8 日(土)、12 月 6 日(土)、平成 27 年 1 月 10 日(土)、2 月 7 日(土)、3 月 7 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／延 95 人

(内 容)郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成 24 年度から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。解読の対象資料は、かつて、古文書裏打クラブで修復した伊東家(山口修氏)旧蔵資料であり、今年度も引き続きこの資料群の解読を行なった。解読作業は、昨年度に引き続き、会員の習熟度別に筆写班と学習班に分かれて行ない、筆写班が解読した資料をテキストとして、学習班で解読を行なった。また、今年度から、さらに解読を進めるため、筆写班を中心とした有志で、毎週金曜日にも活動を行なうことにした。金曜日のクラブは、伊東家(山口修氏)旧蔵資料の中から、会員の関心によって自由に資料を選択し、解読を進める形式にした。なお、今年度は新規会員を募集し、新たに 3 名が入会した。



(担 当) 富田・保坂

<石仏クラブ>

期 日／平成26年4月5日(土)、8月2日(土)、9月6日(土)、12月6日(土)、平成27年2月7日(土)、3月5日(土)

場 所／東小磯と西小磯地区

参加人数／延28人

(内 容) 当町では、過去に石造物の悉皆調査を実施し、その成果を大磯町文化財調査報告書「石造物調査報告書」としてまとめている。調査実施後、既に盗難、破損、移動、新設された石造物も少なくないことから、報告書をもとに所在調査を兼ねて町内の石造物を訪ね、学び、楽しむ機会とし、そして、このことが地域の文化的資産として石仏(石造物)について一層の関心を高め、保護保全への動機付けにつながることを期待して平成23年度に開始した。平成26年度は主に東小磯、西小磯地区の調査を行なった。平成26年度までの3ヶ年で、旧大磯町域の調査は概ね完了した。

(担 当) 保坂・佐川



<大磯自然観察会>

期 日／平成26年4月26日(土)、5月10日(土)、5月24日(土)、6月14日(土)、7月26日(土)、8月23日(土)、9月27日(土)、10月25日(土)、11月22日(土)、12月13日(土)、平成27年1月24日(土)、2月14日(土)、2月28日(土)、3月14日(土)
※6月28日(土)は雨天のため中止とした。

場 所／大磯運動公園、大磯町西小磯、国府本郷地区
北浜海岸、小磯の海岸
郷土資料館 研修室

参加人数／延193人

(内 容) 本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成11年度に活動を開始した。これまでに第1次調査 秋の植物分布調査〔平成11年度・12年度〕、第2次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成13～17年度〕、第3次調査 星槎湘南大磯キャンパス(万台こゆるぎの森)の植物調査〔平成18～20年度〕を実施してきた。現在は第4次調査として、大磯運動公園及びその周辺地域の植物調査を行なっている。本年度は15回の活動を予定していたが、降雨のため1回が中止となり、14回の活動となった。内容としては大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査を11回、海岸の植物調査を2回、天然記念物を中心とした樹木観察を1回実施した。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
4月26日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	10月25日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
5月10日	北浜海岸の植物調査	11月22日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
5月24日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	12月13日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
6月14日	小磯の海岸の植物調査	1月24日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
6月28日	— 雨天のため中止 —	2月14日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
7月26日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	2月28日	天然記念物を中心とした樹木観察
8月23日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査	3月14日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査
9月27日	大磯運動公園、西小磯と国府本郷の谷戸の花暦調査		

(担 当) 北水



<海の森クラブ>

期 日／平成26年4月16日(水)、5月31日(土)、7月23日(水)・24日(木)、11月21日(金)、12月12日(金)、平成27年1月23日(金)、3月12日(木)
 ※6月12日(金)、2月26日(木)は雨天のため中止とした。

場 所／町内海岸、郷土資料館 研修室

参加人数／延23人

(内 容) 本年度5年目となるワークショップ。大磯町の海藻の目録化を目的として活動を進めている。本年度は季節ごとの海藻の生育状況を確認するため、北浜海岸、照ヶ崎海岸と大磯港で定点観察を実施した。また、5月には海の教室『磯の生き物観察会』で海藻についての講話を行ない、7月には海の教室『楽しい海藻おしばづくり』でおしばづくりの指導にあたった。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
4月16日	北浜海岸、照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察	11月21日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
5月31日	海の教室『磯の生き物観察会』 海藻についての講話	12月13日	照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
6月12日	－台風接近のため中止－	1月23日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
7月23日	海の教室『楽しい海藻おしばづくり』 おしばづくりの指導	2月26日	－低気圧通過のため中止－
7月24日	海の教室『楽しい海藻おしばづくり』 おしばづくりの指導	3月12日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察

(担 当) 高山・北水



<海の教室>

① ビーチコーミング

期 日／平成26年4月13日(日)

場 所／照ヶ崎海岸、北浜海岸

講 師／北水慶一(当館学芸員)

参加者／9人

② 磯の生き物観察会

期 日／平成26年5月31日(土)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／福田良昭氏(相模貝類研究談話会会長)

参加人数／40人

③ アオバト観察会

期 日／平成26年6月29日(日)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／金子典芳氏(こまたん)

※こまたん／湘南地域を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体

参加人数／22人

④ 楽しい海藻おしばづくり

期 日／平成26年7月23日(水)、24日(木)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／高山優美(当館臨時職員)

三橋絹代氏、永島美保氏(海の森クラブ会員)

参加人数／49人



(内 容) 特定の学問分野に拘らず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成 12 年度から実施している。平成 26 年度は生き物観察を中心に 4 種類の講座を実施した。楽しい海藻おしばづくりについては 7 月 23 日、24 日の午前、午後 1 回ずつの計 4 回実施し、夏休みの自由研究に活用できる内容と好評を博した。

(担 当) 北水・高山

<民俗調査「昔の遊び調査隊」>

期 日／平成 26 年 6 月 4 日(水)・26 日(木)、7 月 8 日(火)・
30 日(水)、10 月 7 日(火)、11 月 20 日(木)・27(木)、
12 月 9 日(火)・16 日(火)、平成 27 年 2 月 28 日(土)、

場 所／町内、郷土資料館 研修室他

参加人数／延 40 人

(内 容)「昔の遊びと子供の生活」をテーマに 1 年間の期限付きで民俗調査を行った。



<合併 60 周年記念事業ワークショップ「大磯町の移り変わりを探してみよう」>

期 日／平成 26 年 4 月 26 日(土)、5 月 31 日(土)、6 月 28 日(土)、7 月 26 日(土)、8 月 9 日(土)・
30 日(土)、9 月 27 日(土)

場 所／郷土資料館 研修室、町内

参加人数／延 59 人

(内 容) 合併当時の頃の町の風景を写した写真から、現在の町の風景を特定して、町の変化を調査した。

■ リニューアル推進事業

(株)坂倉建築研究所にリニューアル展示工事の実施設計業務を発注した。

あわせて、リニューアル展示に活用する資料を整備するとともに、収蔵庫の環境整備を進めた。

<資料整備>

高麗寺村絵図修理委託

業 務 内 容	完成年月日	委 託 先
当館所蔵の虫損が激しく開披できない高麗寺村絵図を繕い、裏打ちによって修理する。	H26.9.3	宮田文申堂

災害史ポスターの作成

業 務 内 容	完成年月日	発 注 先
平成 24 年度春季企画展「大磯の災害」の内容をわかりやすくまとめたポスターを作成し、当館において定期的に展示する他、学校、他施設へ貸出し、地域の災害史を継続的に伝える。	H27.3.27	(株)グラフ

<収蔵庫の環境整備>

特注軽量物品棚の設置

業 務 内 容	数量	納 品 日	発 注 先
収納容積を増やすことを目的に、東蔵に特注軽量物品棚を設置した。	11 台	H26.6.27	神奈川ファイリング(株)

■ 学校教育との連携

<児童・生徒を対象とした学習指導>

	学校から郷土資料館へ (郷土資料館の見学、学習指導)		郷土資料館から学校、町内各所へ (郷土資料館外への講師派遣)		
幼稚園 保育園	5月16日	国府幼稚園遠足	5月28日	大磯幼稚園遠足 「磯遊び」	
	9月4日	まきば幼稚園遠足	\		
	10月3日	めぐみ幼稚園(二宮町)遠足			
	10月3日	国府保育園・たかとり幼稚園・ 国府幼稚園合同遠足			
	10月7日	めぐみ幼稚園(二宮町)遠足			
	11月11日	れんげ幼稚園(小田原市)遠足			
	11月21日	苗・花もんもん保育園(平塚市) 遠足			
	3月3日	たかとり幼稚園遠足			
	3月5日	国府保育園遠足			
	3月6日	国府幼稚園遠足			
小学校	5月23日	国府小学校1年生遠足		4月18日	国府小学校4年生理科学習 「春の自然」
	10月28日	大磯小学校1年生総合学習	5月29日	国府小学校4年生総合学習 「わたしたちの大好きな海」	
	10月30日	国府小学校4年生社会科 「昔から今へと続くまちづくり」	5月30日	国府小学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」	
	\			6月2日	国府小学校4年生総合学習 「わたしたちの大好きな海」
				6月10日	大磯小学校3年生総合学習 「もっと知りたい大磯町」
				7月11日	国府小学校4年生理科学習 「夏の自然」
				9月13日	国府小学校3年生理科学習 「いろいろなこん虫のかんさつ」
				11月7日	国府小学校4年生理科学習 「秋の自然」
				12月4日	国府小学校5年生総合学習 「大磯町の自然環境」
				2月3日	大磯小学校3年生社会科学習 「町の人たちがうけつぐ行事」
			2月4日	国府小学校4年生理科学習 「冬の自然」	
		3月5日	国府小学校3年生社会科学習 「さぐってみよう昔の暮らし」		
中学校	5月27日	国府中学校1年生総合学習 「大磯の自然」「国府祭」	5月30日	国府中学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」	
	1月30日	国府中学校1年生職場体験	12月17日	大磯中学校1年生総合学習 「左義長」	

<教員を対象とした講義>

- ・大磯町立学校新採用職員研修（5月）
- ・総合学習に生かせる大磯の自然散策（8月）

<その他の活動>

- ・理科副読本「大磯の自然－植物編－」の作成（年間）
（担当）國見・北水・富田・保坂

■ 他の博物館・生涯学習施設との連携

<自然史系博物館標本データ整備事業への参加>

自然史標本データベース神奈川委員会の参加館として、哺乳類 20 件、鳥類 120 件のデータベースを整備し、データ提供を行なった。本データは国立科学博物館 Web サイト内「サイエンスミュージアムネット」で検索、閲覧が可能である。

（担当）北水

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの充実>

郷土資料館の Web サイト内[大磯町郷土資料館ノート]に館活動情報等を掲載し、発信した。

（月別アクセス数）

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	2,391	2,854	2,612	3,199	2,888	2,473	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2,621	2,426	1,768	2,973	2,231	2,477	30,913

（担当）曾根田・山口・保坂・高山

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・『年報－平成 25 年度－』 A4 判 54 頁 500 部（平成 26 年 8 月刊）
- ・大磯町合併 60 周年記念写真集『風景写真から見る大磯の移り変わり』 A4 判 36 頁 800 部（平成 26 年 10 月刊）
- ・『Report－大磯町郷土資料館だより』 35 A4 判 8 頁 800 部（平成 27 年 2 月刊）
- ・資料館資料 15『横溝コレクション・馬の資料目録』 A4 判 60 頁 500 部（平成 27 年 3 月刊）

<チラシ・パンフレット>

- ・企画展『収蔵動物標本展』チラシ A4 判両面 3,000 部（平成 26 年 4 月刊）
- ・企画展『相模湾のウミガメ』チラシ A4 判両面 3,000 部（平成 26 年 7 月刊）
- ・『大磯の山－鷹取山を知る－』リーフレット A4 判 4 頁 2,000 部（平成 26 年 9 月刊）
- ・大磯町合併 60 周年記念企画展『地図と風景写真から見る大磯』チラシ A4 判両面 4,000 部（平成 26 年 10 月刊）
- ・企画展『大磯町の文化財』チラシ A4 判両面 3,000 部（平成 26 年 12 月刊）
- ・企画展『昭和の子供たち－子供の遊びとくらし－』チラシ A4 判両面 3,000 部（平成 27 年 3 月刊）
- ・大磯町郷土資料館ワークショップ「昔の遊び調査隊」『みんなで調べた昭和の遊び』リーフレット A4 判 8 頁 500 部（平成 27 年 3 月刊）

<その他>

- ・講座通信『木荔枝－大磯自然観察会通信－』 A4 判 2 頁 コピー対応（平成 26 年 4, 7, 10 月、平成 27 年 1 月刊）
- ・講座通信『海の森通信』 A4 判 2～4 頁 コピー対応（平成 26 年 4, 5, 6, 7, 12 月刊）

■ 調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外（國見・北水・鈴木・富田・曾根田・山口・諏訪部・高山・保坂・菊地）
- ・神奈川県博物館協会役員会出席／年間／神奈川県立歴史博物館（國見）
- ・駒澤大学博物館学講座講義／年間／駒澤大学（國見）
- ・首都圏形成史研究会研究例会／シンポジウム「歴史災害を伝えるー“災害史”研究の現状と課題ー」発表／4月5日／青山学院大学青山キャンパス（富田）
- ・神奈川県植物誌調査会2014年度総会、講演会、調査参加／4月6日、10月10日、12月26日、1月22日／神奈川県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館（北水）
- ・新採用職員研修講義／4月17日／大磯町役場本庁舎（國見）
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」出席／4月23日、5月27日、6月20日、8月28日、10月31日、1月7日／大磯町役場本庁舎、大磯町保健センター（北水）
- ・大磯町立国府小学校4年生自然科学学習「春の自然」指導／4月24日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・大磯町立学校新採用教職員研修会講義／5月20日／郷土資料館（北水）
- ・大磯町立国府中学校1年生総合学習「大磯の自然」「国府祭」指導／5月27日／郷土資料館（北水・諏訪部）
- ・大磯町立大磯幼稚園「磯遊び」指導／5月28日／照ヶ崎海岸（北水）
- ・大磯町立国府小学校4年生総合学習「わたしたちの大好きな海」指導／5月29日、6月2日／大磯町立国府小学校、西小磯の海岸（北水）
- ・大磯町立国府小・中学校生沢分校総合学習「漂着物を使った美術品製作」指導／5月30日／神奈川県立おおいそ学園（北水）
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習「もっと知りたい大磯町」指導／6月10日／大磯町立大磯小学校（富田・保坂）
- ・第1回大磯町文化財専門委員会議出席／7月10日／大磯町役場本庁舎（富田）
- ・大磯町立国府小学校4年生自然科学学習「夏の自然」指導／7月11日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・里山シンクタンクス主催親子で学ぶ食育イベント講義／7月20日・23日／郷土資料館（北水）
- ・山手学院中学・高等学校生物部「夏期観察会」指導／8月3日／小磯の海岸、郷土資料館（北水）
- ・平塚市環境政策課主催夏休みこども環境教室〔海編〕指導／8月4日／平塚新港周辺（北水）
- ・大磯町インターシップ「郷土資料館業務について／博物館資料の整理」指導／8月7日／郷土資料館（北水）
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導／8月26日／鷹取山（北水）
- ・横浜市歴史博物館古文書を読む会夏季特別講座「助郷制度について」講義／8月29日／横浜市歴史博物館（富田）
- ・文明開化期の相武地域史研究会定例研究会出席／6月19日、9月2日、11月20日、3月5日／横浜開港資料館、東海大学湘南校舎（富田）
- ・大磯町立国府小学校3年生自然科学学習「いろいろなこん虫のかんさつ」指導／9月13日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・大磯町観光協会主催大磯邸園講座「大磯と吉田茂」講義／9月26日／神奈川県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区管理休憩棟（山口）
- ・神奈川県立公文書館主催古文書解読基礎講座講義／10月19日／神奈川県立公文書館（富田）
- ・大磯町観光協会主催大磯邸園講座「大磯別荘文化と伊藤博文」講義／10月24日／神奈川県立大磯城山公園旧吉田邸地区管理休憩棟（山口）
- ・大磯町立国府小学校4年生社会科学学習「昔から今へと続くまちづくり」指導／10月30日／郷土資料館（富田・保坂）
- ・小田原市生涯学習課主催歴史講座「小田原藩と城下町」講義／10月30日／小田原市生涯学習センターけやき（富田）
- ・大磯町立国府小学校4年生自然科学学習「秋の自然」指導／11月7日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・中地区小・中学校退職校長会ふるさと再発見研修会「大磯の史跡をめぐる」講義／11月12日／大磯町内（國見）

- ・大磯町観光協会主催邸園文化事業・大磯 2014 秋事業「伊藤博文公及び三井財閥総本家別荘」講義／11 月 18 日／郷土資料館（國見）
- ・北海道大学農学研究院土木保全学研究室「本州から北海道への移住」文献・聴き取り共同調査／11 月 25 日・26 日・27 日／福井県、岐阜県（富田）
- ・神奈川県平塚土木事務所主催県土づくり見学会「大磯の歴史～城山荘について～」講演／11 月 27 日／城山公園旧吉田茂邸地区管理休憩棟（國見）
- ・小田原市教育委員会主催小田原市遺跡調査発表会「汽車土瓶について」講演／11 月 30 日／小田原市立かもめ図書館（國見）
- ・大磯町立国府小学校 5 年生総合学習「大磯の自然環境」指導／12 月 4 日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・大磯町立大磯中学校 1 年生総合学習「左義長」指導／12 月 17 日／大磯町立大磯中学校（保坂）
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会運営委員会出席／12 月 19 日、2 月 17 日／埼玉県立文書館（富田）
- ・大磯町立国府中学校 1 年生職場体験学習指導／1 月 30 日／郷土資料館（北水）
- ・図書館教養講座「湘南の考古学」講義／1 月 31 日、2 月 7 日／大磯町立図書館（鈴木）
- ・大磯町立大磯小学校 3 年生社会科学習「町の人たちがうけつぐ行事」指導／2 月 3 日／大磯町立大磯小学校（保坂）
- ・大磯町立国府小学校 4 年生理科学習「冬の自然」指導／2 月 4 日／大磯町立国府小学校（北水）
- ・星槎学園高等部湘南校スポーツアカデミーコース 2 年生「よのなか科」講義／2 月 6 日／郷土資料館（富田）
- ・みなとまちづくり協議会主催みなとまちづくり講演会講義／2 月 22 日／大磯町保健センター（富田）
- ・玉縄 歴史の会主催「大磯宿の小島本陣」講演／3 月 1 日／玉縄学習センター 玉縄分室（富田）
- ・国府小学校 3 年生社会科「さぐってみよう昔の暮らし」指導／3 月 5 日／郷土資料館（保坂・高山）

<施設・展示解説>

- ・鎌倉ガイド協会／4 月 9 日（曾根田）
- ・団体／5 月 20 日／16 人（鈴木）
- ・個人（横浜市）／6 月 19 日／2 人（北水）
- ・県町村議会なぎさブロック会議／7 月 8 日／10 人（曾根田）
- ・個人（大磯町）／7 月 18 日／1 人（北水）
- ・高麗郡建郡 1300 年記念事業委員会／7 月 20 日／20 人（富田）
- ・杉並区都市整備部まちづくり推進課／7 月 23 日／4 人（國見・山口）
- ・個人／8 月 5 日／4 人（國見）
- ・神奈川県町村会町村長・議長合同研修会／8 月 19 日／30 人（曾根田）
- ・新江ノ島水族館／9 月 3 日／3 人（北水）
- ・個人（大磯町）／10 月 17 日／5 人（國見・富田）
- ・茅ヶ崎市文化資料館／10 月 8 日／20 人（國見）
- ・相模原市立東林公民館／11 月 13 日／20 人（國見）
- ・伊勢原市人権擁護委員／11 月 20 日／8 人（鈴木）
- ・八歩会／11 月 22 日／20 人（富田）
- ・関東学院大学大越ゼミナール／11 月 23 日／11 人（保坂）
- ・河内あるく会／12 月 3 日／15 人（富田）
- ・神奈川県平塚土木事務所／1 月 27 日／4 人（國見）
- ・真鶴町文化財審議委員会／2 月 10 日／5 人（國見）
- ・大類歴史研究会／3 月 8 日／30 人（北水）
- ・玉縄 歴史の会／3 月 17 日／15 人（富田）

<執筆>

國見 徹

- 2014. 11. 「汽車土瓶について」『平成 26 年度小田原市遺跡調査発表会 発表要旨』小田原市教育委員会
- 2015. 3. 「別荘地大磯の形成－発掘調査等の成果から－」『月刊 考古学ジャーナル』No. 668
2015 年 4 月号 ニューサイエンス社

北水 慶一

- 2014. 8. 「講座『みんなで町の自然を調べよう～身近な草木の実と冬の花しらべ～』及び学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012－2013・冬』の実施報告」『年報－平成 25 年度－』大磯町郷土資料館

鈴木 一男

- 2014. 11. 『湘南の考古学』六一書房

富田 三紗子

- 2014. 5. 「砂川村役場の組織分析と文書群構造－町村制下を中心に－」『アーカイブズ学研究』第 20 号 日本アーカイブズ学会
- 2014. 8. 「博物館が所蔵する文献資料の整理における ISAD(G)の考え方の応用－大磯町郷土資料館における整理方法を検討して－」『年報－平成 25 年度－』大磯町郷土資料館
- 2014. 10. 大磯町合併 60 周年記念写真集『風景写真から見る大磯の移り変わり』大磯町郷土資料館
- 2014. 12. 書評「山本幸俊著『近世の村落と地域史料保存』」『アーカイブズ学研究』第 21 号 日本アーカイブズ学会
- 2015. 2. 「高麗寺村絵図の修復」『Report－大磯町郷土資料館だより』35 大磯町郷土資料館

諏訪部 房代

- 2015. 2. 「横溝精彦コレクションの郷土玩具について」『Report－大磯町郷土資料館だより』35 大磯町郷土資料館
- 2015. 3. 資料館資料 15『横溝コレクション・馬の資料目録』大磯町郷土資料館

高山 優美

- 2015. 2. 「海の森クラブ活動報告」『Report－大磯町郷土資料館だより』35 大磯町郷土資料館

保坂 匠

- 2014. 6. 「2014 年の大磯町西小磯西地区七夕行事報告（二）」『民俗』第 227 号 相模民俗学会
- 2014. 8. 「大磯町大磯地区北下町の御札資料からみる信仰範囲」『年報－平成 25 年度－』大磯町郷土資料館
- 2014. 11. 「大磯町国府新宿地区木之下の地蔵念仏」『民俗』229 号 相模民俗学会
- 2015. 2. 「飴屋「あめ新」と坂田山心中事件の観光化」『Report－大磯町郷土資料館だより』35 大磯町郷土資料館
- 2015. 3. 資料館資料 15『横溝コレクション・馬の資料目録』大磯町郷土資料館

■ 博物館実習

平成 26 年度は 2 大学より 2 名の学生を受け入れた。実習期間は 9 月 2 日から 9 月 13 日の間（9 月 7 日・8 日を除く）及び 7 月 25 日（事前ガイダンス）、9 月 19 日（課題等提出）の計 12 日間とした。

博物館実習は例年、1 週目と 2 週目とでは作業内容を変えて実施している。実習 1 週目は歴史、自然各分野の作業や梱包、軸物等資料の取り扱いなど実務的な作業を行ない、2 週目は常設展示室の展示替実習を行なった。展示替実習は実習生が主体となって、企画立案から展示に至るまでの作業を進めるもので、本年度は「大磯の山ー鷹取山を知るー」のタイトルで進めた。鷹取山は大磯町の中で標高が最も高い山である。山頂に鷹取神社があることで、この地域本来の自然が残されてきた。展示では同地で確認されている鳥類、哺乳類の剥製や植物の写真パネルを展示するとともに、同地が歌詞に入っている小中学校の校歌を紹介した。

<実習生>

石川 由実（神奈川大学）、押田 愛（東洋英和女学院大学）

<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
7 月 26 日	金		ガイダンス／館内見学
9 月 3 日	火	講義（資料館の活動概要）	町内施設・史蹟見学／図書資料整理
9 月 4 日	水	自然史標本（剥製）の整理	樹木の写真撮影／自然史標本（貝類標本）の整理
9 月 5 日	木	古文書裏打クラブの準備作業	古文書裏打クラブの準備作業／展示替実習打ち合わせ
9 月 6 日	金	資料梱包	資料梱包／特殊資料の取り扱い／展示替実習打ち合わせ
9 月 7 日	土	古文書裏打クラブに参加	古文書裏打クラブに参加／展示替実習打ち合わせ
9 月 10 日	火	展示替実習（展示構想打合せ・資料調査・資料選択・旧展示片付け）	
9 月 11 日	水	展示替実習（資料選択・原稿執筆・写真撮影）	
9 月 12 日	木	展示替実習（写真撮影・原稿作成・キャプション作製・パネル作製）	
9 月 13 日	金	展示替実習（原稿作成・キャプション作製・パネル作製・展示台作製・リーフレット編集）	
9 月 14 日	土	展示替実習（展示台作製・列品・リーフレット編集・片付け・展示批評）	
9 月 20 日	金		展示替実習（展示の手直し）



（担当）北水・富田・國見

■ 博物館資料の収集、整備、利用

<寄贈資料>

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2014-0401	H26. 4. 1	古文書	一括	後藤布 大磯町月京	1101	H26. 11. 12	古文書 他	一括	宮代梅太郎 大磯町大磯
0420	H26. 4. 9	デーケー	1 対	森政夫 中井町半分形	1102	H26. 11. 13	お縫物針セット	1	浅沢允 大磯町東小磯
0422	H26. 4. 18	永山光幹 関連資料	一括	永山サト子 大磯町西小磯	1103	H26. 11. 29	大磯町地番 反別入地図	1	鈴木一男 大磯町生沢
0423	H26. 4. 20	大磯海水浴場開設 100 周年記念入場券 他	2	加藤進 大磯町大磯	1201	H26. 12. 10	吉田茂 関連資料	1	柴田紳一 渋谷区東
0424	H26. 4. 21	吉田茂 関連資料	3	春木喜八郎 港区南青山	1204	H26. 12. 24	松本順 関連資料	1	三宅好雄
0501	H26. 5. 4	吉田茂木像 他	2	池田治子 大磯町大磯	1205	H26. 12. 24	松本順 関連資料 他	3	三好正則 大磯町西小磯
0503	H26. 5. 20	カイロウド ウケツ 他	2	曾田成則 相模原市南区	2015-0101	H27. 1. 6	『新宿百選』 Vol.47 他	1	宮代梅太郎 大磯町大磯
0504	H26. 5. 25	嫁入り道具 他	120	安部川征彦 大磯町大磯	0102	H27. 1. 20	イカヅノ	174	西山敏夫 二宮町山西
0505	H26. 5. 18	サーフボード	3	柏原亮介 大磯町大磯	0103	H27. 1. 20	絵葉書	1	東真江 秦野市南ヶ丘
0602	H26. 6. 14	スピードスケ ート靴 他	6	寺澤弘 大磯町東町	0202	H27. 2. 15	古文書	一括	中村悠治 大磯町高麗
0701	H26. 7. 16	古文書	一括	二挺木春行 大磯町大磯	0301	H27. 3. 7	カードラック 他	9	諏訪部房代 大磯町東小磯
0801	H26. 8. 5	マッチ 他	24	寺澤弘 大磯町東町	0302	H27. 3. 10	カクチゲ 他	11	西山敏夫 二宮町山西
0802	H26. 8. 7	古写真	17	土屋清 大磯町東小磯	0303	H27. 3. 11	伊藤博文 関連資料	1	添田郁 大磯町東小磯
0804	H26. 8. 22	庚申講資料	一式	渡辺鐵雄・渡邊大三・ 西方武夫 大磯町西小磯	0304	H27. 3. 26	オモチャ	15	飯島眞砂子 大磯町石神台
0805	H26. 8. 27	吉田茂書簡	1	杉藤旬亮 大磯町西小磯	0305	H27. 3. 26	オテダマ 他	一括	東真江 秦野市南ヶ丘
0901	H26. 9. 13	ナエシロノコテ 他	41	宮代梅太郎 大磯町大磯	0306	H27. 3. 28	高麗山神輿 保存会守り札	1	原田勝司 大磯町高麗
1001	H26. 10. 6	吉田茂書	1	匿名	0307	H27. 3. 28	ナコウド	1	西山敏夫 二宮町山西
1003	H26. 10. 23	株券	5	椎野欣二 小田原市前川	0308	H27. 3. 31	トランジスタ テレビ	1	國見徹 小田原市城山

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2014-1001	H26. 10. 08	大磯町立小磯 幼稚園標札他	1	大磯町教育委員会 子育て支援課	1206	H26. 12. 25	耐火煉瓦	1	産業環境部 環境美化センター
1202	H26. 12. 10	広報担当 撮影写真	一括	大磯町政策課	2015-0201	H27. 2. 14	大磯駅開業 90 周年入場券 他	10	産業環境部 環境美化センター

<採集資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2014-0702	H26. 7. 18	赤煉瓦	2	—

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2014-1203	H27. 12. 16	掛軸・ 安田靫彦書簡	1	福地書店	2015-0104	H27. 1. 23	吉田内閣 記念写真帖	1	永森書店

<寄託資料>

(敬称略、寄託期間：H26. 4. 1 ～ H27. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2014-0402	H26. 4. 1	菊池重三郎 関連資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0412	H26. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区長 西小磯東区長
0403	H26. 4. 1	書籍	2	山川正 大磯町国府新宿	0413	H26. 4. 1	山高帽 他	一括	西小磯東区長
0404	H26. 4. 1	獅子頭	2	裡道区長	0414	H26. 4. 1	伊藤博文書幅	1	大木伸男 秦野市堀山下
0405	H26. 4. 1	子ども会旗・ 七夕資料 他	一括	西小磯西子ども 会長	0415	H26. 4. 1	扁額 他	2	国府中学校長
0406	H26. 4. 1	木造仁王像	2	慶覚院	0416	H26. 4. 1	屏風 他	一括	南本町区長
0407	H26. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校	0417	H26. 4. 1	雛人形	一括	菱沼薫 横浜市緑区
0408	H26. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0418	H26. 4. 1	高札	3	坂井孝明 大磯町黒岩
0409	H26. 4. 1	画幅	1	角田豪 茅ヶ崎市萩園	0421	H26. 4. 18	大久保家資料	一括	大久保忠旦 千葉県千葉市
0410	H26. 4. 1	四季耕作図 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0502	H26. 5. 10	クロッカスカデー 看板	1	添田光雄 大磯町国府本郷
0411	H26. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社	0803	H26. 8. 12	脇差	1	岩田迪久 大磯町寺坂

<資料整備>

動物剥製製委託

標本名	数量	完成年月日	委託先
ハシボンガラス	1体	H26. 5. 28	(有)尼ヶ崎科学標本社
トラツグミ	1体		

動物剥製修復・クリーニング委託

標本名	数量	完成年月日	委託先
アカウミガメ (修復)	1体	H26. 5. 28	(有)尼ヶ崎科学標本社
イノシシ (クリーニング)	1体		

祭り船解体組立 (展示) 委託

委託内容	完成年月日	委託先
御船祭開催にあたり、常設展示室展示中の祭り船を解体し、祭礼に使用する。祭礼終了後は、組立 (展示) を行なう。	H26. 7. 21	大磯御船祭保存会

<資料の特別利用 (No. 1) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
竹神輿	5	撮影 /研究発表	H26. 4. 3	個人	禰龍館繁栄之 図	1	撮影 /観光ポスター	H26. 4. 13	大磯町 観光協会
企画展示資料	1	撮影 /刊行物掲載	H26. 4. 7	タウンニュース社	滄浪閣 絵はがき	2	データ利用 /テレビ放送	H26. 4. 15	アルファ映像
常設展示資料	10	撮影 /研究発表	H26. 4. 9	個人	松本順肖像 写真	1	データ利用 /広告展示	H26. 4. 15	エー・アト・アイ 広告制作事務所
仁王像	4	撮影 /ブログ掲載	H26. 4. 10	個人	禰龍館繁栄之 図	5	データ利用 /参考資料	H26. 4. 16	文化堂印刷
仁王像	5	撮影 /刊行物掲載	H26. 4. 12	個人	伊東家旧蔵 資料	一括	撮影 /研究発表	H26. 4. 18	古文書解読 クラブ参加者

<資料の特別利用 (No. 2) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 4. 18	古文書解読 クラブ参加者	下田横穴墓 出土の鏡 写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 7. 6	雄山閣
常設展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H26. 4. 19	個人	海水浴場 写真 他	44	撮影 ／研究発表	H26. 7. 8	いそっこ海の 教室実行委員
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 4. 30	古文書解読 クラブ参加者	海水浴場130年 記念パネル写真	1	複製 ／イベント展示	H26. 7. 8	いそっこ海の 教室実行委員
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 5. 2	古文書解読 クラブ参加者	ウミガメ写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 7. 11	タウンニュース社
城山荘模型	5	撮影 ／個人的趣味	H26. 5. 24	個人	大磯名所絵葉 書 他	7	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 7. 15	個人
城山荘模型	3	撮影 ／個人的趣味	H26. 5. 24	個人	波乗り用板子 写真	3	撮影 ／イベント展示	H26. 7. 19	いそっこ海の 教室実行委員
常設展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H26. 5. 27	個人	常設展示風景	10	撮影 ／自由研究	H26. 7. 21	個人
竹神輿	1	撮影 ／個人的趣味	H26. 5. 27	個人	常設展示資料	3	撮影 ／個人的趣味	H26. 7. 23	個人
鴨立沢標石	1	撮影 ／刊行物掲載	H26. 5. 30	東京新聞	常設展示風景	1	データ利用 ／テレビ放送	H26. 7. 29	㈱インビッシュ
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 5. 3	古文書解読 クラブ参加者	海水浴絵葉書	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 7. 30	大磯町役場
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 5. 3	古文書解読 クラブ参加者	常設展示風景	10	撮影 ／ホームページ掲載	H26. 7. 31	東洋英和 女学院大学
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 5. 3	古文書解読 クラブ参加者	大磯の七夕 行事資料	2	撮影 ／刊行物掲載	H26. 7. 31	神奈川新聞
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 5. 6	古文書解読 クラブ参加者	常設展示風景	8	撮影 ／研究発表	H26. 7. 31	個人
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 5. 9	古文書解読 クラブ参加者	海水浴場風景	3	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 8. 8	大磯町役場
吉田茂関連資料	12	撮影 ／研究発表	H26. 6. 7	個人	大磯宿小島 本陣資料	3	撮影 ／刊行物掲載	H26. 8. 14	個人
民俗資料	2	撮影 ／展示発表	H26. 6. 12	神奈川県立 歴史博物館	ウミガメ写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 8. 25	読売新聞
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 6. 13	古文書解読 クラブ参加者	左義長写真	7	撮影 ／ホームページ掲載	H26. 8. 19	東光院
松本順肖像 写真 他	19	データ利用 ／テレビ放送	H26. 6. 13	アルファ映像	別荘地図写真	9	複写 ／大磯迎賓館展示	H26. 8. 20	インターナショナル 青和(株)
常設展示資料	23	撮影 ／授業課題	H26. 6. 15	個人	郷土資料館 エントランス写真	5	複製 ／個人的趣味	H26. 8. 22	個人
企画展示資料	30	撮影 ／個人的趣味	H26. 6. 15	個人	特別展示資料	5	撮影 ／自由研究	H26. 8. 22	個人
常設展示資料	9	撮影 ／授業課題	H26. 6. 21	個人	竹神輿	1	撮影 ／個人的趣味	H26. 8. 27	個人
ウミガメ写真	3	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 6. 25	個人	常設展示風景	20	撮影 ／刊行物掲載	H26. 9. 2	スポーツクラブ ネットワーク
海水浴場風景	8	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 6. 25	大磯町役場	郷土資料館 写真 他	2	撮影・模写 ／研究発表	H26. 9. 2	個人
滄浪閣絵葉書 他	8	データ利用 ／展示発表	H26. 6. 26	一葉記念館	郷土資料館 写真 他	3	撮影 ／研究発表	H26. 9. 3	個人
常設展示風景	5	データ利用 ／SNS 掲載	H26. 6. 27	個人	常設展示風景	5	撮影 ／個人的趣味	H26. 9. 12	個人
海水浴場 関連資料	2	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 6. 30	湘南リビング 新聞社	常設展示風景	—	撮影 ／参考資料	H26. 9. 12	坂倉 建築研究所
松本順肖像 写真 他	12	データ利用 ／SNS 掲載	H26. 7. 3	(有)ポップアイ	常設展示風景	160	撮影 ／参考資料	H26. 9. 17	坂倉 建築研究所
常設展示資料	1	撮影 ／個人的趣味	H26. 7. 4	個人	常設展示写真	6	撮影 ／個人的趣味	H26. 9. 19	個人

<資料の特別利用 (No. 3) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
大磯町航空写真図 他	4	撮影 ／イベント展示	H26. 9. 27	個人	鳴立庵資料	27	データ利用 ／研究発表	H26. 12. 8	個人
昭和 35 年結婚式 写真	2	撮影 ／イベント展示	H26. 9. 30	井上蒲鉾店	六所社領高反別取調書上帳 他	72	撮影 ／研究発表	H26. 12. 14	個人
海水浴場風景	1	模写 ／刊行物掲載	H26. 10. 7	個人	四季耕作図	1	撮影 ／刊行物掲載	H26. 12. 14	個人
如庵・城山荘写真集	100	撮影・CD 貸出 ／個人的趣味	H26. 10. 10	個人	常設展示風景	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 12. 18	個人
企画展示風景	3	撮影 ／刊行物掲載	H26. 10. 11	タウンニュース社	伊東宗兵衛家資料	—	撮影 ／複製データ作成	H26. 12. 22	藤沢市文書館
企画展示風景	6	撮影 ／刊行物掲載	H26. 10. 11	個人	アルミ箔	5	撮影 ／参考資料	H27. 1. 5	ルーカス
企画展示風景	—	撮影 ／刊行物掲載	H26. 10. 15	読売新聞社	大磯町の文化財 告知写真	1	撮影 ／刊行物掲載	H27. 1. 12	タウンニュース社
旧役場前風景写真	1	撮影 ／刊行物掲載	H26. 10. 15	湘南リビング編集部	海水浴場絵葉書 他	3	データ利用 ／刊行物掲載	H27. 1. 14	大磯町役場
中助勘書簡葉書・封書	13	撮影 ／刊行・展示	H26. 10. 15	神奈川近代文学館	高麗寺村領山林田畑惣絵図	1	撮影 ／刊行物掲載	H27. 1. 15	平塚市博物館
エントランス風景	6	撮影 ／個人的趣味	H26. 10. 15	個人	鳴立沢標石 浮世絵 他	4	データ利用 ／テレビ放送	H27. 1. 17	日経映像
企画展示風景	3	撮影 ／SNS 掲載	H26. 10. 16	個人	耐火煉瓦・赤煉瓦 実測トレス図	3	複写 ／刊行物掲載	H27. 1. 28	個人
企画展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H26. 10. 16	個人	常設展示風景	1	撮影 ／個人的趣味	H27. 2. 7	個人
旧大磯町行政資料 1789. 1797	2	撮影 ／研究発表	H26. 10. 16	個人	禱龍館繁栄之図	1	データ利用 ／刊行物掲載	H27. 2. 9	神奈川県広報
堂後下 10 号墓 側壁肋状仕上他	4	撮影 ／刊行物掲載	H26. 10. 17	個人	常設展示風景	—	データ利用 ／研究発表	H27. 2. 10	真鶴町教育委員会
別荘絵葉書	1	複写 ／パネル展示	H26. 10. 17	インターナショナル青和(株)	常設展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H27. 2. 17	個人
鳥類剥製	8	撮影 ／個人的趣味	H26. 10. 24	個人	大磯海水浴場富士遠景図	1	撮影 ／広報用映像	H27. 2. 20	らくだスタジオ
常設展示資料	1	撮影 ／個人的趣味	H26. 10. 26	個人	土器類	一括	撮影 ／個人的趣味	H27. 2. 25	個人
滄浪閣絵葉書	5	撮影 ／テレビ放送	H26. 10. 29	山口朝日放送東京支社	大磯停車場絵葉書 他	10	撮影 ／刊行物掲載	H27. 2. 26	個人
伊藤博文肖像写真	1	撮影 ／看板に掲載	H26. 11. 5	川勾神社	高麗寺村領山林田畑惣絵図	1	撮影 ／パネル展示	H27. 2. 26	平塚市博物館
禱龍館繁栄之図	1	撮影 ／刊行物掲載	H26. 11. 7	藤沢市文書館	左義長 写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H27. 3. 4	神奈川県政策局
常設展示資料	3	撮影 ／個人的趣味	H26. 11. 8	個人	高麗神社 上宮写真	1	撮影 ／個人的趣味	H27. 3. 5	個人
竹神輿写真	2	撮影 ／個人的趣味	H26. 11. 12	個人	城山荘写真 他	17	撮影 ／刊行物掲載	H27. 3. 9	週刊現代
透穴高杯壺 透穴脚付壺	2	撮影 ／研究発表	H26. 11. 18	国立歴史民俗博物館研究部	板子	1	撮影 ／SNS 掲載	H27. 3. 12	個人
企画展示資料	7	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 11. 20	大磯町役場	海水浴関連資料	6	撮影 ／研究発表	H27. 3. 18	個人
高麗園の櫻絵葉書	2	撮影 ／刊行物掲載	H26. 11. 20	江北村の歴史を伝える会	大磯町全略図	1	撮影 ／参考資料	H27. 3. 26	個人
常設展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H26. 11. 22	個人	大磯明細全図	1	撮影 ／研究発表	H27. 3. 26	個人
絵はがき	—	撮影 ／個人的趣味	H26. 11. 30	個人	企画展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H27. 3. 29	個人
常設展示資料	—	撮影 ／個人的趣味	H26. 12. 7	個人					

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
高麗寺領相模国陶綾郡高麗時村絵図	1	資料修理	H26. 5. 6 ～ 8. 31	宮田文中堂	小柄・馬針	2	資料保全	H26. 10. 3 ～10. 7	個人
民俗資料	7	講義	H26. 5. 17 ～ 5. 24	個人	箱眼鏡・鍬	3	講義	H26. 10. 4 ～10. 11	個人
吉田茂関連資料	12	研究	H26. 6. 24 ～ 7. 14	個人	城山荘・如庵写真集	84	観賞	H26. 10. 16 ～11. 05	個人
大磯選手村開村記念真珠バッジ	1	展示	H26. 7. 4 ～10. 3	神奈川県歴史博物館	大磯丘陵のセミ	1	レポート参考資料	H26. 10. 28	個人
随神、屏風、掛軸	5	祭事	H26. 7. 17 ～ 7. 23	個人	大磯小学校ボート資料	4	授業	H26. 11. 21 ～12. 5	大磯小学校
獅子頭	2	祭事	H26. 7. 19 ～ 7. 20	個人	種採機 (ロコ)	1	研究	H26. 11. 29 ～12. 18	個人
船山車水引	1	水引新調の参考資料	H26. 8. 12 ～ 9. 10	個人	伊東宗兵衛家文書	365	マイクロフィルム撮影複製の作成	H27. 1. 14 ～ 1. 28	藤沢市文書館
堂後下横穴墓群関連資料	4	資料保存及び資料確認	H26. 9. 3 ～ 3. 13	東都文化財保存研究所	吉田茂写真集	1	パンフレットへの写真掲載	H27. 2. 4 ～ 2. 17	神奈川印刷株式会社
高麗寺領相模国陶綾郡高麗時村絵図	1	修理委託後確認作業	H26. 9. 9 ～10. 24	宮田文中堂	伊藤公関連資料	一式	祭事	H27. 3. 7 ～ 3. 8	個人
明治時代の浮き輪・板子	2	展示	H26. 9. 21 ～ 1. 20	一葉記念館	ゾウ・ヤゲン 他	5	展示	H27. 3. 12 ～ 3. 31	東海大学松前記念館

<備品等の貸出>

備品名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
公用車	1	狂犬病予防定期集合注射	H26. 4. 4 ～ 4. 11	大磯町環境美化センター	公用車	1	子ども作品展の物品搬送	H26. 11. 7	大磯町教育委員会学校教育課
公用車	1	東海大学生公共化視察	H26. 5. 10	大磯町都市計画課	公用車	1	子ども作品展の物品搬送	H26. 11. 10	大磯町教育委員会学校教育課
公用車	1	町ぐるみ美化キャンペーン	H26. 5. 21 ～ 5. 27	大磯町環境美化センター	公用車	1	会計監査書類搬送	H26. 11. 12	大磯町財政課
公用車	1	なぎさの祭典物品搬送	H26. 7. 25 ～ 7. 29	大磯町産業観光課	折りたたみ椅子	40	城山公園紅葉のライトアップ	H26. 11. 21 ～12. 3	神奈川県公園協会
プロジェクター スクリーン	各1	研修会	H26. 7. 27	神奈川県公園協会	公用車	1	選挙準備選挙片づけ	H26. 11. 26 ～12. 2	大磯町選挙管理委員会
プロジェクター スクリーン	各1	イベント事前説明	H26. 7. 27	磯っこ海の教室実行委員	公用車	1	選挙準備選挙片づけ	H26. 12. 10 ～12. 16	大磯町選挙管理委員会
プロジェクター・マイク スクリーン・パソコン	各1	研修会	H26. 8. 19	神奈川県町村会	公用車	1	出初式物品搬送	H26. 1. 9 ～ 1. 14	大磯町消防署
マイク	2	講演会	H26. 8. 23	大磯の戦争を語り継ぐ会	公用車	1	成人式	H27. 1. 12 ～ 1. 13	大磯町教育委員会生涯学習課
プロジェクター スクリーン	各1	映画会	H26. 9. 28 ～ 9. 28	大磯お茶の間映画館実行委員会	公用車	1	大磯一周駅伝大会	H27. 1. 18	大磯町スポーツ健康課
公用車	1	就学児検診	H26. 10. 22 ～ 10. 23	大磯町学校教育課	スクリーン	1	社会保障番号制度研修	H27. 1. 28 ～ 1. 29	大磯町総務課
公用車	1	横溝記念祭物品搬送	H26. 10. 24 ～10. 27	大磯町福祉課	ディスプレイケーブル	1	議員研修会	H27. 2. 4	大磯町議会
椅子 机・延長コード	10 各1	イベント利用	H26. 10. 25	こぶしの会	プロジェクター・コード・スクリーン	各1	講演会	H27. 3. 6	湘南国立大学校
公用車	1	就学児検診	H26. 10. 22 ～ 10. 23	大磯町学校教育課	長机	1	イベント利用	H27. 3. 6	大磯ガイドボランティア協会
公用車	1	小中学校音楽会物品搬送	H26. 11. 1	大磯町教育委員会学校教育課	スクリーン	1	講習会	H27. 3. 7	大磯ガイドボランティア協会

<寄贈受入図書>

出版地	寄 贈 者	書 名	出版年
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	ちがさきの身近な野鳥	2013/10
	茅ヶ崎市文化生涯学習課	文化資料館調査研究報告 23号	2014/3
藤沢市	湘南考古学研究所	小田原城下上幸田跡 (no. 35遺跡) 第V地点発掘調査報告書	2014/10
	藤沢市教育委員会	大地に刻まれた藤沢の歴史 5 (古代)	2015/3
		藤沢市文化財調査報告書 第49集	2014/3
	藤沢市文書館	関東大震災とふじさわ : 1923年9月1日11:58:32	2014/3
		藤沢のいま・むかし	2014/3
		藤沢市史研究 第47号	2014/3
	日本大学 生物資源科学部博物館	博物館報 第23号	2014/6
平塚市	東海大学文学部	維新の動乱と神奈川 : 道と海の視点から 相武地域史研究会第2回シンポジウム報告書	2015/1
	平塚市教育委員会	平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 10 第6分冊 (64区)	2013/3
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 10 第7分冊 (65区)	2013/3
	平塚市博物館	コケ観察ブック	2014/11
		コケ植物標本目録	2014/11
		ぼくたちはひとりぼっち? : 地球の外に生命を探して 平成26年度夏期特別展	2014/7
		炎の証言 第15号	2013/4
		自然と文化 : 平塚市博物館研究報告 37 (2014)	2014/3
		湘南の樹木	2014/2
		真田・北金目遺跡群 : 平成25年度夏期特別展平塚市文化財展	2013/7
		平塚の石仏 : 3058の祈りと願い : 平成二十六年度秋期特別展	2014/10
		平塚の石仏 8 (金田地区編)	2013/7
		平塚の石仏 9 (旭地区編)	2014/5
		平塚市博物館年報 37 (2013)	2014/2
		神奈川県 環境科学センター調査部	神奈川県内河川の魚類
	中勘助を知る会	詩集 中さんの散歩道 : 「しづかな流れ」より	2014/9
寒川町	寒川町教育委員会	下大曲上ノ山遺跡 第2次調査	2015/3
	寒川文書館	寒川町史研究 第26号	2014/3
		寒川町史調査報告書 19 (浜降祭日記 4)	2014/3
		寒川文書館年報 第7号 (平成25年度)	2014/9
小田原市	小田原市教育委員会	小田原市遺跡調査発表会 : 発表要旨 平成26年	2014/11
		小田原市史 史料編 近世 1 (藩政)	1995/12
		小田原市史 史料編 近世 3 (藩領 2)	1990/10
		小田原市史 史料編 近代 1	1991/3
		小田原市史 史料編 近代 2	1993/3
		小田原市史 史料編 原始・古代・中世 1	1995/3
		小田原市史 史料編 現代	1997/3
		小田原市史 史料編 中世 3 (小田原北条 2)	1993/3
		小田原市史 通史編 近現代	2001/3
		小田原市史 通史編 近世	1999/3
		小田原市史 通史編 原始・古代・中世	1998/3
		小田原市史 別編 自然	2001/12
		小田原市史 別編 年表	2003/3
		天神山周辺の原始・古代の遺跡	2014/3
	小田原市郷土文化館	小田原市郷土文化館研究報告 No. 50	2014/3
	小田原城天守閣	いにしへの小田原 : 遺跡から見た東西文化の交流 平成26年度小田原城天守閣特別展	2014/10
		よみがえる小田原城 : 史跡整備30年の歩み 平成25年度小田原城天守閣特別展	2013/10
	神奈川県立 生命の星・地球博物館	どうする?どうなる!外来生物 : とりもどそう私たちの原風景 展示解説書 : 2014年度特別展	2014/7

出版地	寄贈者	書名	出版年
		神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第19号 (2013年度)	2014/11
		神奈川県立博物館研究報告 自然科学 44号	2015/2
		神奈川自然誌資料 36	2015/2
箱根町	箱根町立郷土資料館	近代箱根の名園 : 恩賜箱根公園・強羅公園・神仙郷 国登録記念物登録記念 : 郷土資料館企画展記念冊子 箱根町立郷土資料館館報 第30号	2014/10 2014/3
山北町	山北町教育委員会	足柄乃文化 第41号	2014/3
横浜市	アーク・フィールド ワークシステム	河原口坊中遺跡第6次調査	2014/9
		七ノ域遺跡第8地点	2014/12
	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館年報 平成25年度	2014/7
	横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター	権田原遺跡 3 (弥生時代後期-古墳時代前期編)	2014/9
	玉川文化財研究所	下北原遺跡 3	2014/12
		今泉荒井遺跡群発掘調査報告書	2014/3
		山王B遺跡第13地点	2015/2
		神成松遺跡第4地点	2014/3
		神成松遺跡第7地点	2015/2
		切通し横穴群	2015/2
		船久保遺跡	2014/3
		田中・第六天遺跡第2地点発掘調査報告書 平成25年度都市計画道路田中笠窪線埋蔵文化財調査業務	2014/3
		煤ヶ谷古在家遺跡	2015/3
	横浜みなと博物館	横浜港ゆかりの船	2014/2
		船の旅と横浜港 : 秘蔵コレクション : 開館25周年記念展	2014/4
		報道写真が映す戦後の横浜港 : 神奈川新聞社創業125周年記念	2015/2
	神奈川県立図書館	郷土神奈川 第53号	2015/2
	神奈川大学 学芸員課程委員会	神奈川大学学芸員課程年報 3号 2013年度	2014/3
	JICA横浜 海外移住資料館	JICA横浜海外移住資料館館報 2013年度	2015/3
		JICA横浜海外移住資料館研究紀要 8 (平成25年度)	2014/3
	横浜都市発展記念館	港をめぐる二都物語 : 江戸東京と横浜	2014/1
	神奈川近代文学館	神奈川近代文学館年報 2013年 (平成25年) 度 須賀敦子の世界展	2014/7 2014/10
	神奈川県	神奈川県内河川の底生動物 2	2014/3
	神奈川県教育委員会	かながわの民俗芸能. 第78号 神奈川県埋蔵文化財調査報告 59	2014/3 2014/3
		地中に埋もれた江戸時代の道具たち : かながわの町と村の暮らしぶり 平成25年度かながわの遺跡展・巡回展	2013/12
	神奈川県博物館協会	神奈川県博物館協会加盟館園職員名簿 2014	2014/8
		神奈川県博物館協会会報 第85号	2014/3
	神奈川県立歴史博物館	こもんじょざんまい : 鎌倉ゆかりの中世文書 : 特別展	2013/10
		神奈川県立博物館研究報告. 人文科学. 第40号	2013/10
		神奈川県立博物館研究報告. 人文科学. 第41号	2014/10
		神奈川県立歴史博物館年報. 平成24年度	2014/3
		特別陳列「よみがえる東京オリンピック」出品目録 / よみがえる 東京オリンピック新聞 Vol.1-Vol.9. 号外2	[2014/7]
		日本銀行と横浜正金銀行の建築 : 神奈川県立歴史博物館総合研究報告書	2014/3
		白絵 : 祈りと寿ぎのかたち : 特別展	2014/10
		陸にあがった海軍 : 連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争	2015/1
	馬の博物館	サラブレッドとその美術 = Art of thoroughbred : 企画展 歌舞伎と馬 : 特別展	2014/10 2014/4
	横浜市歴史博物館	「学校内歴史資料室を活用した博物館デビュー支援事業」年報 文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業. 平成25年度 ハマの東海道 : 企画展 : 横浜市「横浜旧東海道魅力づくり事業」 連携企画	2014/3 2014/4

出版地	寄贈者	書名	出版年
		横浜市歴史博物館紀要 第18号	2014/3
		横浜市歴史博物館資料目録 第22集	2014/3
		横浜市歴史博物館調査研究報告 第10号	2014/3
		絵巻でみる事件：百姓一揆絵巻/火事図巻	2013/6
		佐久間象山と横浜：海防、開港、そして人間・象山	2014/5
		水へのいのり：古代東国の川辺と井戸のまつり	2013/7
		昔のくらしと年中行事：ちょっとむかしのよこはま	2014/1
		地球のかたちと万国の大地：横浜市立大学コレクション・古地図の世界	2013/10
		横浜市歴史博物館企画展	
		読んで・調べて・記録する：春夏秋冬くらしの行事を調べてみよう	2014/1
		博物館ってなあに?：博物館をもっと知るためのマナーブック	2014/3
	かながわ考古学財団	保土ヶ谷宿脇本陣藤屋資料集	2014/4
		海浜型前方後円墳の時代	2015/3
		考古学から見る中世都市鎌倉の海浜地域	2014/12
		上粕屋・石倉中遺跡	2013/12
		真田・北金目遺跡群	2015/3
		東田原象ヶ谷戸遺跡	2014/12
		年報 21 (平成25年度)	2014/12
	神奈川県埋蔵文化財センター	神奈川県埋蔵文化財センター年報 25	2014/1
	横浜植物会	横浜植物会年報 第43号	2014/5
	神奈川県公園協会	ビジターセンター発 丹沢・陣馬周辺自然情報	2015/2
川崎市	川崎市立日本民家園	旧山田家住宅	2015/1
	川崎市市民ミュージアム	近代川崎人物伝 = Kawasaki legend：川崎の礎を築いた偉人たち 市制90周年記念	2014/6
		柴川敏之・2000年後の今に触れる・プロジェクト：planet tactile /ABC-アート・ブック・クラブ：中学生とミュージアムがつくる一冊の本	2014/3
		川崎市市民ミュージアム紀要 第26集	2014/3
		川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 民俗資料 第5集	2014/3
		日清・日露戦争とメディア = Power of media under the war	2014/10
鎌倉市	鎌倉市教育委員会	鎌倉の埋蔵文化財 = Buried cultural properties in Kamakura. 平成24年度発掘調査の概要 17	2014/3
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書：平成25年度発掘調査報告 30 第1分冊	2014/3
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書：平成25年度発掘調査報告 30 第2分冊	2014/3
	鎌倉文化研究会	長善寺遺跡発掘調査報告書	2014/3
		鎌倉 117号	2014/8
		鎌倉 118号	2015/1
横須賀市	横須賀市教育委員会	東京湾要塞跡猿島砲台跡千代ヶ崎砲台跡	2014/3
	横須賀市自然・人文博物館	横須賀市博物館研究報告 自然科学 第61号	2014/3
		横須賀市博物館資料集 第38号	2014/3
	横須賀美術館	横須賀市博物館報 No. 61	2014/8
		横須賀美術館年報 平成25年度 (2013. 4. 1-2014. 3. 31)	2014/7
		横須賀美術館年報 別冊教育普及事業編 平成25年度	2014/7
葉山町	葉山しおさい博物館	潮騒だより. No. 24	2015/3
厚木市	厚木市教育委員会	恩名片岸遺跡第2地点発掘調査報告書・恩名沖原遺跡第7地点発掘調査報告書 書・林南遺跡第4地点発掘調査報告書・長谷清水遺跡第3地点発掘調査報告書 書・恩名中原遺跡第3地点発掘調査報告書	2010/1
		化粧：美の演出、社会的シンボル、コミュニケーション手段 第17回特別展	2014/11
		及川十二天上遺跡第2地点	2014/3
		登山1号墳出土遺物調査報告書 2	2012/3
		登畑遺跡・登畑遺跡第2地点	2010/3
	県央史談会	県央史談 第54号	2015/1
海老名市	ブラフマン	国分尼寺北方遺跡 第46次調査	2013/4
		北金目塚越遺跡第8地点	2014/5
		本郷中谷津遺跡 第18次調査	2014/2
相模原市	相模原市立博物館	ふるさと津久井 第6号	2014/3

出版地	寄贈者	書名	出版年
		相模原市史 現代テーマ編 (軍部・基地そして都市化)	2014/3
	武相文化財研究所	相模原市史ノート 第11号	2014/3
		小野公所遺跡第4地点	2012/5
		上溝三谷遺跡第2地点	2012/5
		津久井町三ヶ木二本木遺跡	2008/4
		田名丸山遺跡	2009/4
		田名坂上遺跡第6地点	2007/11
		武蔵国府関連遺跡調査報告 : K・Sビル地区	1999/9
座間市	座間市教育委員会	座間むかしむかし 第36集	2014/3
		座間市史 5(通史編 下巻)	2014/3
茨城県	稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館館報 第8号	2014/3
		湯崎遺跡	2013/6
	土浦市教育委員会	土浦の石仏 新治地区編	2014/3
	龍ヶ崎市教育委員会	林遺跡発掘調査報告書 : 茨城県龍ヶ崎市	2014/3
	龍ヶ崎市歴史民俗資料館	いまに輝くふるさと龍ヶ崎の先人たち	2014/3
	筑波大学図書情報メディア系知的コミュニティ基盤研究センター	近代地方公文書アーカイブズの構造と情報に関する学際的総合研究	2014/3
	小美玉市教育委員会	取手山館跡: 田木谷上玉里線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2013/8
群馬県	渋川市教育委員会 文化財保護課	渋川市市内遺跡 7	2014/3
		渋川市内発掘調査報告書	2014/3
		渋川市文化財年報 平成24年度	2014/3
		津久田上安城遺跡 2	2014/3
		有馬寺畑遺跡	2014/3
	スナガ環境測設株式会社	白井北中道遺跡 2	2014/3
	毛野考古学研究所	白井南中道遺跡 3	2014/11
埼玉県	ふじみ野市教育委員会	市内遺跡群 10	2014/3
		市内遺跡群 11	2014/3
		市内遺跡群 12	2014/3
		市内遺跡群 7	2012/3
		市内遺跡群 8	2013/3
		市内遺跡群 9	2013/3
		鶴ヶ岡外遺跡Ⅰ・鶴ヶ舞遺跡Ⅱ・江川南遺跡Ⅳ	2009/9
		東台遺跡 6	2009/9
	立正大学博物館	軌跡と躍進 : 第9回企画展	2014/7
		近世の墓石と墓誌を探る : 立正大学博物館第9回特別展	2015/1
		立正大学博物館年報 12 (平成25年度)	2014/4
	春日部市教育委員会	貝の内遺跡17. 27次地点・浜川戸遺跡31. 32. 33次地点	2014/3
		八木崎遺跡5次地点	2014/3
	埼玉県立川の博物館	ふしぎ・かっこいい埼玉と日本の爬虫類	2014/7
	日高市教育委員会	高麗石器時代住居跡遺跡 : 確認調査報告書	2014/3
		北ノ原-1次調査-・西佛-2・3次調査-・森ノ腰-2次調査	2013/3
	富士見市立 難波田城資料館	古老が描いた昔 : 喜太郎さんのスケッチブック	2015/3
	杉戸町教育委員会	平成27年度春季企画展図録	
		町内遺跡発掘調査. 3	2014/3
	税務大学校 税務情報センター	相続税関係史料集 : 導入から昭和21年まで	2014/3
	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会	アーキビスト : 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会会報 No. 80	2013/9
千葉県	館山市立博物館	安房の干鯛 : いわしと暮らす、いわしでつながる : 平成25年度特別展	2014/2
		那古 : いにしへの里と観音さまの町	[2013]
		北条 : にぎわう安房の玄関口	[2014]
		里見氏の遺産 : 城下町館山-東京湾の湊町 : 里見氏安房国替400年特別展	2014/9
		里見氏の遺産 : 里見氏安房国替400年特別展 平成26年度特別展Ⅱ 第2期 (古文書)	2015/2

出版地	寄贈者	書名	出版年	
	国立歴史民俗博物館	大ニセモノ博覧会：贋造と模倣の文化史	2015/3	
		文字がつなぐ：古代の日本列島と朝鮮半島：国際企画展示	2014/10	
		弥生ってなに?!：企画展示	2014/7	
		歴博 No. 186	2014/9	
	市立市川考古博物館	市立市川考古博物館館報 第41号	2014/3	
		市立市川考古博物館館報 第42号	2015/3	
	市立市川自然博物館	市立市川自然博物館年報 No. 24 (平成24年度)	2014/3	
	市立市川歴史博物館	市立市川歴史博物館館報 平成24年度	2014/3	
		市立市川歴史博物館館報 平成25年度	2015/3	
	松戸市立博物館	松井天山の鳥瞰図と市川市域：市制施行80周年記念平成26年度企画展	2015/3	
		Plastic? plastic!：高度経済成長とプラスチック：平成26年度企画展	2014/10	
		松戸市史 上巻 (原始・古代・中世)	2015/2	
		松戸市立博物館年報 21号 (平成25年度)	2014/8	
	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	農村松戸の民俗：1960年代調査の記録	2014/3	
		サワディー!縄文：タイ古代と先史飛ノ台サワディー!	2013/9	
		縄文土器のふしぎ：Let's enjoy JOMON!：パンフレット 平成25年度船橋市飛ノ台史跡公園博物館企画展 飛ノ台史跡公園博物館紀要 第11号	2013/11 2014/3	
	東京都	外務省外交史料館	外交史料館報 第28号	2014/12
		港区教育委員会	港区埋蔵文化財調査年報 11 (平成24年度の調査他)	2014/1
		港区立港郷土資料館	研究紀要 16 (平成25年度)	2014/3
港郷土資料館館報 32 (平成25年度版)			2014/9	
港区指定文化財 平成25年度			[2013/10]	
港区埋蔵文化財調査年報 12 (平成25年度の調査)			2014/12	
文化環境研究所		豊後森藩久留島家・丹波亀山藩松平家屋敷跡遺跡発掘調査報告書	2014/3	
		豊後日出藩木下家屋敷跡遺跡発掘調査報告書	2013/3	
		Cultivate No. 42	2014/2	
		Cultivate No. 43	2014/12	
日本ユネスコ協会連盟		文環研レポート 第33号	2014/2	
		文環研レポート 第34号	2014/12	
		世界遺産年報：the world heritage 2015 (No. 20)	2014/11	
		駒澤大学禅文化歴史博物館	震災と復興建築：大正時代の駒澤大学：駒沢移転百周年記念企画展	2013/10
科学技術振興機構		Science window：科学するところを開く Vol. 8 No. 1 (54)	2014/4	
		Science window：科学するところを開く Vol. 8 No. 2 (55)	2014/7	
		Science window：科学するところを開く Vol. 8 No. 3 (56)	2014/10	
		Science window：科学するところを開く Vol. 8 No. 4 (57)	2015/1	
		もっと知りたい!わたしのからだ：人のいのちを知る冒険 science window子ども版	2014/3	
憲政記念館 昭和館		明治に活きた英傑たち：議事堂中央広間から歴史を覗く：特別展	2014/11	
		昭和のくらし研究 12号	2014/3	
		昭和館館報. 15号 (平成25年度)	2014/10	
日本学術振興会	科研費news：科学研究費補助金 grants-in-aid for scientific research. 2013 Vol. 4	[2013/3]		
	科研費news：科学研究費補助金 grants-in-aid for scientific research. 2014 Vol. 1	[2014/7]		
	科研費news：科学研究費補助金 grants-in-aid for scientific research. 2014 Vol. 2	[2014/9]		
	科研費news：科学研究費補助金 grants-in-aid for scientific research. 2014 Vol. 3	[2015/1]		
日本博物館協会 文化庁文化財部	安定化处理：大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト	2014/12		
	老岐の船競漕行事 (長崎県)	2014/3		
明治大学学芸員養成課程	"Museum study：Bulletin of the Course for Prospective Museum Workers, Meiji University" 25 (2013年度)	2014/3		
	Museologist：明治大学学芸員養成課程年報 29 (2013年度)	2014/3		

出版地	寄贈者	書名	出版年
	パルテノン多摩	みゆきのあと：明治天皇と多摩：公益財団法人多摩市文化振興財団 宮内庁宮内公文書館共催展示図録	2014/4
	国立科学博物館	Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.7 No.3(39)	2014/5
		Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.7 No.4(40)	2014/6
		Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.7 No.5(41)	2014/9
		Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.7 No.6(42)	2014/11
		Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.8 No.1(43)	2015/1
		Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.8 No.2(44)	2015/3
	大田区立郷土博物館	馬込文士村：あの頃、馬込は笑いに充ちていた：特別展	2014/9
	中央区教育委員会事務局	日本橋人形町三丁目遺跡 1	2013/12
	玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館館報 12号 2013年度	2014/8
		玉川大学教育博物館紀要 11号	2014/3
	吾妻考古学研究所	王禅寺口横穴墓群 第2次調査	2014/9
		神成松遺跡第3地点	2014/10
	町田市教育委員会	下常盤遺跡発掘調査報告書	2014/3
		国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡保存管理計画	2014/3
		発掘された町田の遺跡	2005/3
	町田市立自由民権資料館	自由民権：町田市立自由民権資料館紀要 27	2014/3
		神奈川県と武相の民権家	2014/3
	東京家政学院 生活文化博物館	40年ぶりに目覚めたオートクチュール：P. カルダンとE. ウンガロ	2014/11
		東京家政学院生活文化博物館年報 22号	2012/3
	調布市郷土博物館	橘屋一家のモノ語り	2013/10
	日野市立新選組の ふるさと歴史館	新選組誕生と清河八郎：新選組誕生一五〇年記念巡回特別展	2014/1
	パスコ文化財センター	上粕屋・秋山上遺跡	2015/1
		上粕屋・鳥居崎遺跡 第2次調査	2015/3
		神成松遺跡第5地点	2014/8
	東京家政大学博物館	東京家政大学博物館紀要 第19集	2014/2
	板橋区教育委員会	歴史民俗研究：櫻井徳太郎賞受賞論集 第11輯	2014/3
	板橋区立郷土資料館	発掘調査成果から見た板橋区の原始・古代・中世 1975年(昭和50)以降の調査成果を中心に	2015/1
		板橋区立郷土資料館紀要；板橋区立郷土資料館年報 20号(2014)	2015/3
		幕末動乱：開国から攘夷へ：四館共同企画展	2014/3
	品川区立品川歴史館	品川から世界へサムライ海を渡る：幕末明治の日本と外交使節団 ：特別展	2014/10
	大成エンジニアリング(株) 埋蔵文化財調査部	上粕屋・鳥居崎遺跡	2014/6
	府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館紀要 第28号(2015年)	2015/3
		本宿小野宮内藤治右衛門家文書目録 2	2014/3
	お茶の水女子大学 学芸員課程委員会	博物館実習報告 第30号(2014年度)	2015/1
	豊島区立郷土資料館	生活と文化：研究紀要 23号(2013)	2014/3
	東京都江戸東京博物館	隅田川と本所・向島：開発と観光	2014/3
	地方史研究協議会	地方史研究 64巻5号(371)	2014/10
	国立青少年教育振興機構	子どもゆめ基金ガイド 2014	2014/9
		子どもゆめ基金助成金募集案内：体験活動・読書活動共通 平成27年度	2014/9
	日本能率協会総合研究所 地域安全まちづくり 研究部	1703 元禄地震 報告書	[2013/3]
	砂川村役場文書研究会	旧砂川村(砂川町)役場文書群目録稿総目録	2012/3
		旧砂川村(砂川町)役場文書群目録稿件名目録(産業関係教育関係基地関係 その他)	2012/3
		旧砂川村(砂川町)役場文書群目録稿件名目録(庶務関係)	2012/5
	大修館書店編集部	国語便覧：ビジュアルカラー	2014/4
	考古学ジャーナル 編集委員会	月刊考古学ジャーナル 668号	2015/4

出版地	寄贈者	書名	出版年
北海道	北海道開拓の村	一般財団法人北海道開拓の村 年報 平成25年度	2014/7
青森県	青森県立郷土館	青森県立郷土館報 41号 (2014年度版)	2014/4
福島県	磐梯山慧日寺資料館	史跡慧日寺跡：中心伽藍第I期復元整備事業報告書 史跡慧日寺跡史跡等総合整備活用推進事業	2012/3
		史跡慧日寺跡 23	2011/3
		史跡慧日寺跡 24	2012/3
		史跡慧日寺跡 25	2013/3
		史跡慧日寺跡 26	2014/3
岐阜県	藤村記念館	馬籠八景：古今の対話	2014/4
	タライピアセンター	史跡美濃国府跡：保存管理計画	2014/3
		大石古窯跡発掘調査報告	2013/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市博物館紀要 38	2014/3
	焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館年報 28 (平成25年度)	2014/10
	静岡市立登呂博物館	縄文そして登呂：八ヶ岳山麓から駿河湾まで：平成26年度特別展	2014/10
愛知県	安城市歴史博物館	アッパレ!宮大工：安城の社寺建築を知る：企画展 安城市歴史博物館研究紀要 No. 20 年報 第23号 (平成25年度) 龍燈(りゅうとう)の湖(うみ)：油ヶ淵の過去・現在・そして未来へ特別展	2015/2 2014/3 2014/7 2014/11
	一宮市尾西歴史民俗資料館	公方様ご出陣：徳川家茂長州征伐と起宿：特別展 大垣藩と起宿：春季特別展	2013/10 2014/4
	豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館年報 第26号 平成25年度	2014/6
	豊橋市二川宿本陣資料館	旅セヨ乙女：江戸時代、おんなたちの旅	2014/10
	名古屋大学減災連携研究センター	神奈川県における関東大震災の慰霊碑・記念碑・遺構 その1 県中部編 神奈川県における関東大震災の慰霊碑・記念碑・遺構 その2 県西部編(熱海・伊東も含む)	2014/3 2015/3
三重県	鈴鹿市考古博物館	伊勢湾をめぐる交流 優品でみる鈴鹿の遺跡：市制70周年記念特別展図録 鈴鹿市考古博物館年報 第15号 (平成24年度版)	[2013] 2012/9 2013/12
京都府	向日市文化資料館	「向日里人物志」の世界：近世乙訓の文化サロン：平成25年度企画展 むこうし・おとくにの絵図・地図・写真：うつりかわる景観 市制施行40周年記念事業：向日市文化資料館企画展「展示図録」	2013/9 2013/3
大阪府	大阪市立自然史博物館	恐竜戦国時代の覇者!トリケラトプス：知られざる大陸ララミディアでの攻防：特別展 自然史研究 Vol. 3 No. 15 28-XII-2014 大阪市立自然史博物館館報 39 (平成25年度) 大阪市立自然史博物館研究報告 第68号 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 = Specimen list of Coleoptera in the insect collection of the Osaka Museum of Natural History. 3 長居植物園植物観察ネタ帖 都市の自然：第45回特別展ネコと見つける都市の自然 一家の中から公園さんぽ一解説書	2014 [2014] 2014/6 2014/3 2014/3 2014/3 2014/7
	富田林市教育委員会	古代のとんだばやし. 富田林市内遺跡群発掘調査報告書. 平成25年度	2014/3 2014/3
兵庫県	たつの市立龍野歴史文化資料館	トンボの文化史：童謡の里たつのにおいて	2014/9
岡山県	岡山民俗学会	岡山民俗 235号	2014/12
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園年報 第13号 (2013)	2014/6

<受入機関誌・広報誌>

出版地	受入機関名	誌名	巻号	発行年月
大磯町	大磯ガイドボランティア協会	照ヶ崎	19	2014/5
	エリザベス・サンダース・ホーム	かけはし	43	2014/8
秦野市	野生動物救護の会	Runner	19-21	2014/4. 9. 12
寒川町	寒川文書館	寒川文書館だより	15, 16	2014/3. 9
小田原市	小田原市広報広聴課	技人：つなぐべき小田原の智恵	1-12	2011/12, 2012/3. 11, 2013/2. 6. 10, 2014/7. 10
	小田原市立図書館	小田原市立図書館 地域資料室通信	1-10	2011/1. 5. 10, 2012/3. 6, 2013/6. 12, 2014/8, 2015/1
	神奈川県立生命の星・地球博物館	自然科学のとびら	77-78	2014/6. 12
真鶴町	真鶴町立中川一政美術館	美術館だより	22, 23	2014/3, 2015/3
山北町	神奈川県立丹沢湖ビジターセンター	丹沢湖ビジターセンターだより	33-35	2014/7. 9, 2015/1
横浜市	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館だより	31, 32	2014/10, 2015/3
	横浜都市発展記念館	ハマ発newsletter	22, 23	2014/7. 10
	岩崎博物館	岩崎ミュージアムプレス	142-147	2014/5. 6. 8. 10, 2015/2
	神奈川近代文学館	神奈川近代文学館	124-127	2014/4. 7. 10, 2015/1
	神奈川県教育委員会	民俗芸能情報提供	平成26年度 4-6月, 7-9 月, 10-12月, 平成27年度 1-3月, 4-6月	[2014/3. 6. 9. 12, 2015/3]
	神奈川県博物館協会	Network	35	2014/11
	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館だより	196-198	2014/6. 9. 12
横浜市	横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館news	36, 37	2014/3. 9
	かながわ考古学財団	考古学財団発掘帖	21, 22	[2014/8. 10]
	川崎市	川崎市立日本民家園	日本民家園だより	81, 82
鎌倉市	鶴岡八幡宮宝物殿	社報 鶴岡	119, 120	2014/6, 2015/1
横須賀市	横須賀美術館	Corridart	14, 15	2014/9, 2015/2
清川村	丹沢自然保護協会	丹沢だより	517-527	2014/4-7, 9-12, 2015/1-3
厚木市	厚木市教育委員会	厚木市史たより	9-12	2013/7, 2014/3. 10, 2015/3
栃木県	小山市立博物館	小山市立博物館博物館だより	58, 59	2014/3. 9
埼玉県	立正大学博物館	万吉だより	19	2015/3
	埼玉県立川の博物館	かわはく	48-50	2013/11, 2014/3. 8
千葉県	館山市立博物館	ミュージアム発見伝	88	2014/3
	市立市川自然博物館	市立いちかわ自然博物館だより	145-150	2013/4. 6. 8. 10. 12, 2014/2
	松戸市立博物館	まつどミュージアム	22	2014/3
	船橋市郷土資料館	みゅーじあむ・船橋	1, 2	2013/9, 2014/3
東京都	港区立港郷土資料館	港郷土資料館だより	73, 74	2014/3. 9
		港区立港郷土資料館へ行ってみよう!	11	2014/3
	物流博物館	物流博物館NEWS	13	2014/10
	靖国神社遊就館	靖国	705-716	2014/4-12, 2015/1-3
	パルテノン多摩	パルテノン多摩MUSEUM NEWS	27, 28	2014/7. 12
	玉川大学教育博物館	博物館ニュース Shu	42-43	2014/3. 9

出版地	受 入 機 関 名	誌 名	巻号	発行年月
	調布市郷土博物館	郷土博物館だより	75	2014/3
	東京家政大学博物館	館報	61-62	2014/5. 10
	府中市郷土の森博物館	あるむぜお	106, 108-111	2013/12, 2014/6. 9. 12, 2015/3
	学習院大学学芸員資格取得事務室	学芸員	18	2014/10
	豊島区立郷土資料館	かたりべ	110, 111	2014/2. 3
	お札と切手の博物館	お札と切手の博物館ニュース	34, 35	2014/7. 12
	東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館news	85-87	2014/3. 6. 9
岩手県	牛の博物館	牛のはくぶつかん	42, 43	2014/2. 7
山梨県	環境庁自然保護局生物多様性センター	生物多様性センターニューズレター	34	2014/9
長野県	長野県民俗の会	長野県民俗の会通信	246	2015/3
岐阜県	藤村記念館	藤村記念館だより	137-138	2014/11, 2015/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館だより	202-204	2014/6. 9. 12
	静岡県立美術館	アマリリス	113-116	2014/4. 7. 10 2015/1
愛知県	安城市歴史博物館	博物館ニュース	92, 93, 95	2014/4. 7, 2015/1
	豊橋市美術博物館	風伯	89-91	2014/6. 10, 2015/2
滋賀県	草津宿街道交流館	街道文化通信	29	2014/12
兵庫県	人と防災未来センター	資料室ニュース	52-55	2014/2. 3. 7. 12
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園だより	57-60	2014/3. 6. 9. 12

旧吉田茂邸再建事業

平成 24 年度の基本設計、平成 25 年度の実施設計に基づき、再建工事に着手した。

大磯町旧吉田茂邸再建検討会議において、再建後の利活用について協議をするとともに、再建の経過説明、また、再建後の来場者説明等に活用する映像と解説シートを作製した。また、3 月 7 日には再建工事着工に際し、「旧吉田茂邸再建・着工と報告の会」を開催した。

■ 大磯町旧吉田茂邸再建検討会議

<会議の概要>

- ・設置／旧吉田茂邸再建に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、旧吉田茂邸利活用検討委員会の答申を具現化するため、大磯町庁議規程（平成 14 年大磯町告示第 16 号）第 5 条の規定に基づき大磯町旧吉田茂邸再建検討会議を設置する。
- ・設置日／平成 26 年 9 月 2 日
- ・構成員／教育部長（会長）、教育部生涯学習課長（副会長）、教育部生涯学習課郷土資料館長、政策総務部政策課長、政策総務部総務課長、政策総務部財政課長、都市建設部都市計画課長、産業環境部産業観光課長

<会議の開催>

- ・第 1 回／平成 26 年 9 月 17 日 議題 1 旧吉田茂邸再建工事の建設、設備工事の見直しについて
- ・第 2 回／平成 26 年 10 月 8 日 議題 1 これまでの経過について
議題 2 再建について
議題 3 利活用について
議題 4 今後のスケジュールについて
- ・第 3 回／平成 26 年 11 月 11 日 議題 1 郷土資料館のリニューアルについて
議題 2 調度品について
議題 3 利活用について
議題 4 今後のスケジュールについて
- ・第 4 回／平成 26 年 1 月 14 日 議題 1 現在までの進捗状況について
議題 2 利活用について
議題 3 調度品について
議題 4 旧吉田茂邸再建基金寄付金の状況について
議題 5 郷土資料館のリニューアルについて
- ・第 5 回／平成 27 年 2 月 27 日 議題 1 平成 26 年度協定変更及び平成 27 年度協定の締結について
議題 2 利活用について
議題 3 再建基金寄付金について
議題 4 「旧吉田茂邸再建着工・御礼と報告の会」について
- ・第 6 回／平成 27 年 3 月 13 日 議題 1 「旧吉田茂邸再建着工・御礼と報告の会」の実施報告について
議題 2 利活用について
議題 3 再建基金寄付金並びに募金箱について
議題 4 今後のスケジュールについて
- ・第 7 回／平成 27 年 3 月 25 日 議題 1 理事者への報告について
議題 2 利活用について

■ 資料作成

<展示映像制作>

旧吉田茂邸開館に伴い、主要展示物のひとつとして館内に放映するため、吉田茂に関してドキュメンタリー性の高い映像を制作した。

映 像 名	形式	数量	完成年月日	委 託 先
『吉田茂－日本のグランドデザインを描く－（全体版）』	B D	3 枚	H26. 12. 25	(株)毎日映画社
	DVD	3 枚		
『吉田茂－日本のグランドデザインを描く－（ダイジェスト版）』	B D	3 枚		
	DVD	3 枚		

<再建事業概要パンフレット作成>

旧吉田茂邸再建事業の進捗状況の周知及び吉田茂の事績を紹介するパンフレットを作成した。

映 像 名	部数	完成年月日	供 給 先
旧吉田茂邸再建事業	1 万部	H27. 3. 19	神奈川印刷(株)
政治家としての吉田茂	1 万部		
大磯と吉田茂	1 万部		

■ 旧吉田茂邸再建着工・御礼と報告の会

期 日／平成 27 年 3 月 7 日(土)

場 所／神奈川県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区管理休憩棟他

(趣 旨) 旧吉田茂邸は平成 21 年 3 月 22 日に焼失した後、大磯町と神奈川県とで再建に向けた積極的な活動を展開してきた。再建にあたり大磯町では「旧吉田茂邸再建基金」を設置し、多くの方々から貴重な寄附を賜った。

旧吉田茂邸再建事業は、平成 24 年度の基本設計、平成 25 年度の実施設計を経て、平成 27 年 3 月にいよいよ建物再建工事に着手することになった。戦後政治史の大きな舞台ともなった旧吉田茂邸の再建工事の着工を、寄附等ご協力をいただいた多くの方々に対して、報告する機会とする。

(内 容) 【1 部】 招待者対象 10:00～11:30

- ① あいさつ
- ② 旧吉田茂邸再建の経過説明
- ③ 建物設計等に関する解説
- ④ 映像「吉田茂－日本のグランドデザインを描く－」の上映
- ⑤ 現地見学

【2 部】 一般対象 13:00～13:30、14:00～14:30

映像「吉田茂－日本のグランドデザインを描く－」の上映

参加人数／【1 部】 71 人、【2 部】 15 人

研究報告

大磯町における関東大震災の地域的な被害と地盤の関係

* 富田 三紗子

1. はじめに

大正12(1923)年9月1日午前11時58分、相模湾北西を震源とするM7.9の地震が発生した。後に関東大震災と呼ばれるこの地震は、震源が近い大磯町域にも被害をもたらした。大磯町(1)は、幸いなことに火災も起こらず、大きな津波も発生しなかったため、一般には震源に近いわりには被害が少なかったと言われている(2)。また、被害が少なかった理由として、地盤が良好であり、倒壊した家屋が少なかった点が挙げられることもある(3)。実際に、町村毎の家屋倒壊率を見ると、西隣の国府村が83%に対して、大磯町は26%と、家屋の被害が少なかったと言えよう(4)。

大磯町には、旧大磯町行政資料として、地方自治法施行前に作成された町の公文書、いわゆる旧町役場文書が残されている。この役場文書の中には、関東大震災に関する文書があり、復興に関するものも含めて約45点にのぼる。これらの文書の中には、大磯町内の建物や土地の被害状況に関する文書がある。本稿では、これらの文書を使用して、大字単位で地域的にどの建物が倒壊し、土地にどのような変化があったのかを分析する。また、当町域の地盤については、森慎一氏が調査を行い、詳細な地盤図を編集している(5)。この地盤図を参考に、家屋の被害や土地の変化が、地盤とどのような関係があるのかを考察する。

2. 対象資料について

まずは、大磯町内の地域的な被害を示す公文書について分析する。旧大磯町行政資料の関東大震災に関する文書の内、町内の被害状況を示す文書には、家屋の倒壊数や死傷者数をまとめた統計的な文書があるほか、具体的に地番が記されて、当該地点でどのような被害があったのかを知ることができる文書もある。本稿では、後者の種類にあたる文書を分析の対象とする。

旧大磯町行政資料において、特定の地点でどのような被害があったのかを知ることができる文書の一つに、「住宅罹災申告書綴」(6)という文書がある。この文書は、天皇の恩賜金を下賜するために被災者が提出した、住宅の罹災申告書の綴りである(7)。申告書の様式は各町村役場に委ねられ、大磯町の場合は、罹災当時の居住地、現住所、世帯主の職業と生年月日、申告年月日、申告者を記し、「全潰」か「半潰」かを所定の欄に記入して、町長宛に申告する書式になっていた。現存する簿冊は、「全潰」と「半潰」と2冊に分けて綴られ、いずれも大正12年12月から同13年1月に申告されたも

のである。この申告書に記入された罹災当時の居住地を地図で確認することにより、どの地点にあった建物が全壊あるいは半壊したのかがわかる。

また、「震災被害状況調書」(8)という文書からは、具体的な土地の被害状況を知ることができる。この文書は震災被害に関するいくつかの調査結果を表にまとめたものであり、その中に土地の被害状況をまとめたものがある。調書には、地番毎に、被害状況とその被害の割合、被害額と考えられる金額、地主の住所(大字のみ)と氏名が書かれている。被害状況については、「崩壊」、「埋没」、「亀裂」、「水源枯渇」、「隆起」など、土地がどのように変化したのかが詳しく書かれているため、ある地点でどのように土地が変化したのかを知ることができる。この調書は、田畑の被害状況を調査して、復興や救助金の申請などに役立てるために作成されたと考えられるが、定かではない。

この2種類の文書は、本来、被災者救助を目的として作成された文書と言えるが、本稿では特定の地域の被害状況を知ることができる資料として参照する。

3. 土地の変化と地盤の関係

図1は、前項で分析した文書から得られる建物の倒壊状況と土地の被害状況を地図上に示し、大磯町域の地盤図と重ねた図である。以下、便宜上、高麗、大磯、東小磯、西小磯の大字毎に考察を進める。なお、以下に示す大字毎の図(図2~4)は、図1を抜粋したものであり、凡例は全て同一である。

高麗(図2)

この地域は、大磯町の東端に位置し、域内を花水川(金目川)が通る。江戸時代は、高麗寺の寺領として高麗寺村と呼ばれた地域であり、宝永6(1709)年に花水川の河川改修が行われ、東側を蛇行していた川筋が、域内を通るようになった。これは、2年前に起きた富士山の宝永噴火によって火山灰が堆積し、河床が高くなったことによる河川の氾濫を解消するために行われた工事であったが、それ以前にも、花水川は何度か川筋を変えており、域内の地形には旧河道が見られる(9)。

この地域における関東大震災の被害は、集落がある国道1号線沿いに建物の倒壊が見られ、旧河道の地形に沿って「水源枯渇」や「埋没」、「亀裂」が見られる。旧河道は、水を多量に含んだ地盤であり、軟弱地盤と言われる地形である(10)。地震によって土地に変化が見られたのは、旧河道という地形が影響しているのだろう。特に注目したい点は、東海道線沿いに見られる「埋没」箇所である。ここは、地震発生時にちょうど通過していた列車が転覆した場所と一致し、転覆の原因が、周囲と比べて土地の変化が大きかったことにも関係が

(*) 当館学芸員)

あるのかもしれない。なお、花水川の東側に見られる「その他」は、「地下変動」や「水路破壊」と記されている。

大磯（図3）

大磯町の中心地にあたり、国道1号線沿いに多くの建物が集中していた。地形は、北側に丘陵があり、海に向かって沖積段丘、砂州・砂丘の順番で海岸線に至る。そして、この地形を刻むように浸食した谷底平野が見られる。谷底平野を除き、これらの地形は弱い地盤ではないが(11)、それでも建物の倒壊が見られるのは、建物が集中していたためだろうか。国道1号線沿いは、南本町・北本町、南下町・北下町と江戸時代以来から人家が集中している場所である。また、大磯駅周辺でも、大磯駅自体が全壊したほか、当時近くにあった大磯町役場や郡役所が半壊した。冒頭に述べた、地盤が良好であり、倒壊した家屋が少なかったという評価は正しいとも言えるが、決して建物が倒壊しなかったわけではない。

東小磯・西小磯（図4）

地図の配置上、二つの字をまとめて考察する。東小磯と西小磯は、大磯の西側にあたり、地形も大磯と似ている。当時も国道1号線沿いに建物が建っていたと考えられるが、この地域の状況を見ると、確かに建物の倒壊は少ないと言える。ただし、砂州・砂丘に建っていた別荘には全壊しているものも見られる。注目したい点は、西小磯の丘陵である。この辺りには畑が広がり、「震災被害状況調書」によると、土地の「崩壊」や「埋没」が多く見られ、土地の表面上に様々な変化があったことがわかる。これらの現象が、地盤の強度とどのような関係があるのかは、地質学の観点から検証する必要があるが、一般に地盤が強いと言われている土地でも、大地震が起きた時には何らかの変化が起こる可能性があると言える。ちなみに、被害において「その他」に分類したものは、「地下変動」や「隆起」と記されている。

4. おわりに

以上、大磯は地盤が良好であるため、関東大震災において倒壊する家屋が少なかったという評価が事実であるのかを確認するため、大磯町の公文書に見られる地域の被害状況と、町内の地盤を比較して考察した。その結果、確かに町内は丘陵や沖積段丘、砂州・砂丘の地形が展開し、地盤が強いと言えるが、建物が全く倒壊しなかったわけではなく、なおかつ、建物が建っていなかった土地では、丘陵でも土地が崩壊したり、埋没したりする被害があった。本稿では、考察の対象としなかったが、冒頭で述べたように、大磯町の西に隣接する国府村（現在の大磯町国府地区）は、関東大震災において家屋の倒壊率が83%に達している。この理由としては、集落が展開している生沢などが谷底平

野の地形に位置していることが考えられるが、丘陵に集落がある黒岩や西久保でも多くの家屋が倒壊しており(12)、地盤が強い丘陵であっても建物が倒壊しなかったわけではない。当時の建物の強度とも関係するのかもしれないが、地盤の強度と地震による被害の関係については、今後検証していく必要があるだろう。

注

(1) 現在の大磯町域は、関東大震災発生当時は、大磯町と国府村に分かれていた。本稿における大磯町は旧大磯町を指す。

(2) 大磯町編『大磯町史』7 通史編近現代、大磯町、2008年、p. 458

(3) 榊井照蔵編『大正十二年九月一日大震災記念写真帖』再版、神奈川県震災写真帖頒布事務所、1925年、神奈川県『神奈川県震災誌』神奈川県、1927年、p. 694 など。

(4) 同注2、p. 409

(5) 森慎一編「平塚周辺の地盤図」平塚市博物館、2007年

(6) 大正12年12月「住宅罹災申告書綴」（旧大磯町行政資料1006-1、2）

(7) 北原糸子「関東大震災の避難民：地方の行政資料から」（『災害復興研究』3、2011年）p. 161～163

(8) 大正12年「震災被害状況調書」（旧大磯町行政資料1012-4）

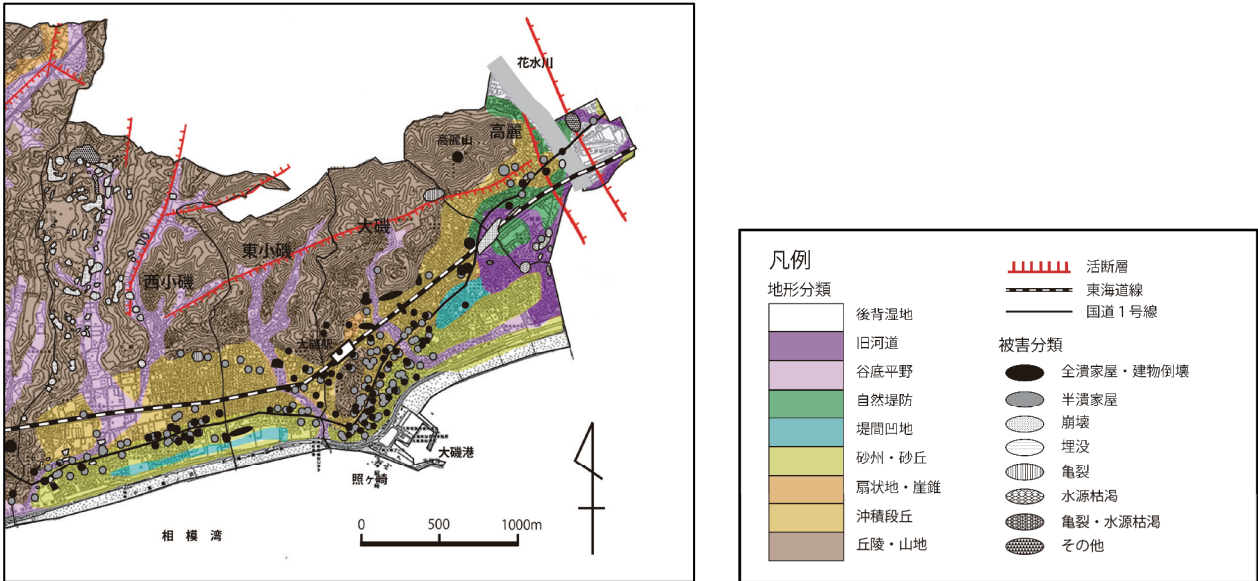
(9) 大磯町編『大磯町史』6 通史編古代・中世・近世、大磯町、2004年、p. 432～442

(10) 『平塚周辺の地盤と活断層』第3版、平塚市博物館、2012年、p. 30

(11) 同注10、p. 20～31

(12) 「大正12年9月1日大震災記」（大正12年、守屋松三郎家資料883）、大磯町郷土資料館編『むかしがたり—古老が語る大磯の災害—』資料館資料2、大磯町郷土資料館、1997年、p. 37

図 1



「大磯町全図 (1:10,000)」(大磯町、1995年発行)を縮小。地形分類及び活断層は森慎一編「平塚周辺の地盤図」(平塚市博物館、2007年発行)による。なお、「全潰」、「半潰」の表記は、資料の表記による。

図 2

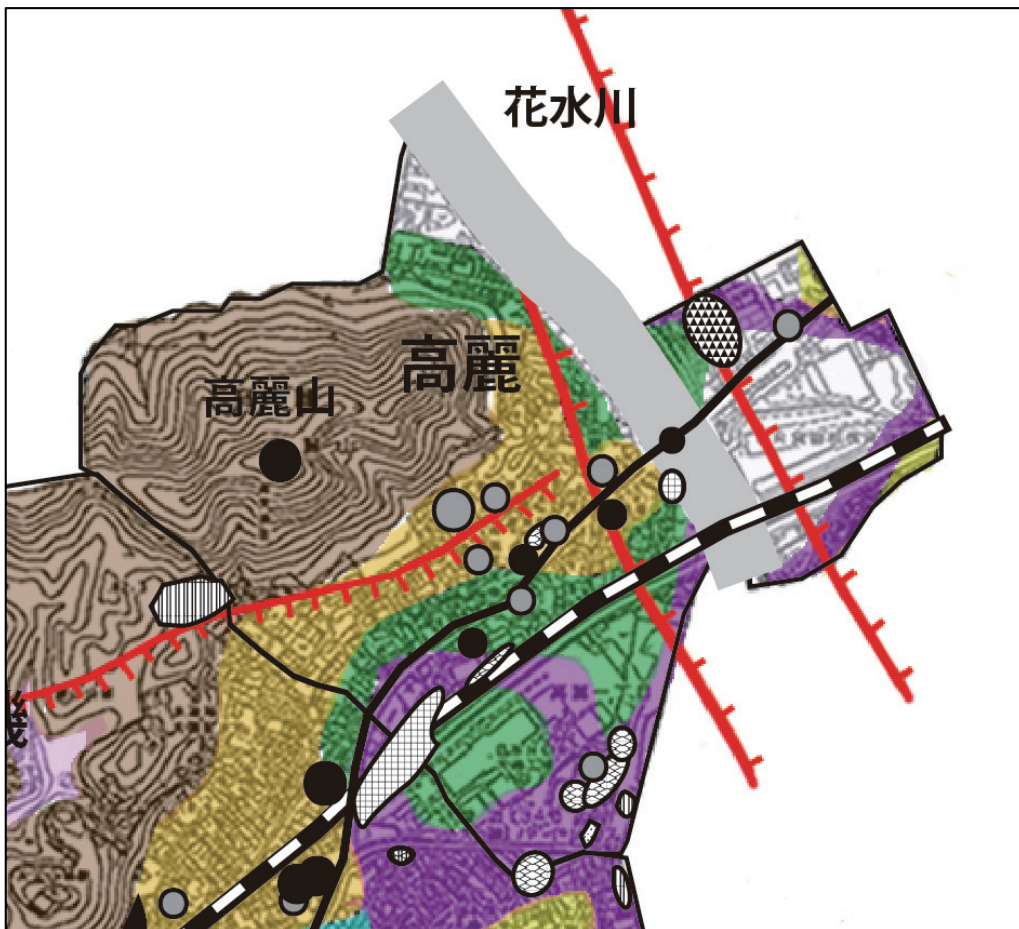


图 3

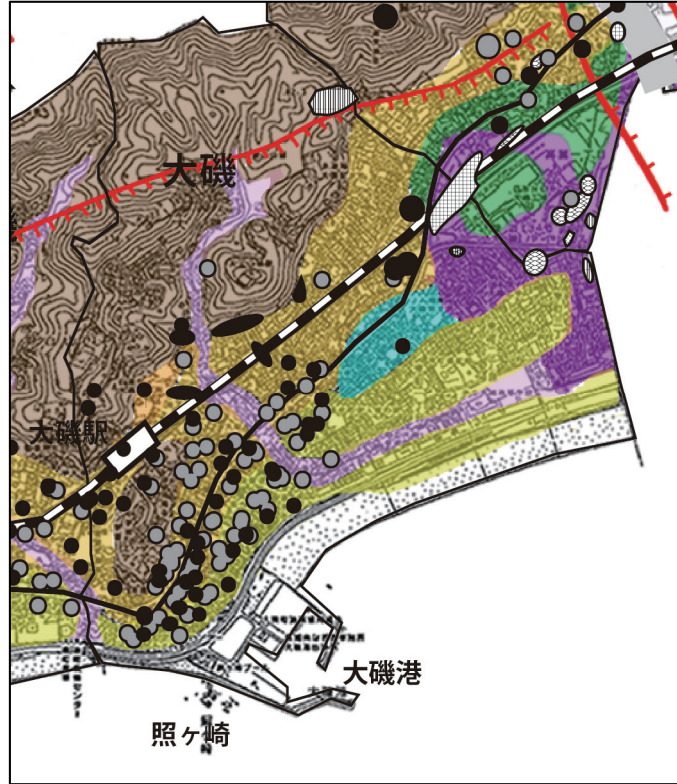
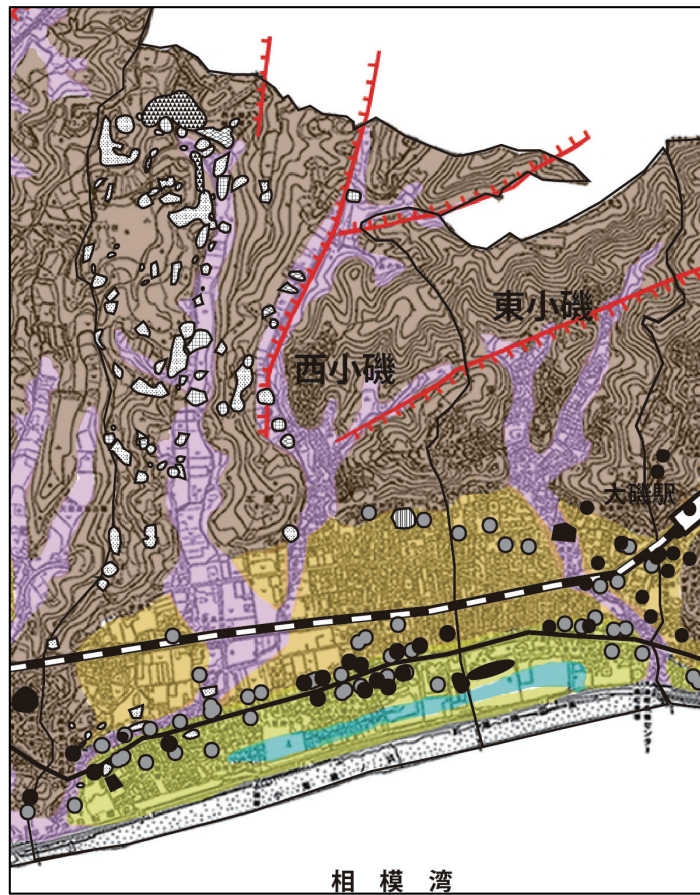


图 4



郷土資料館講座『海の森クラブ』の活動について

* 高山 優美

1. はじめに

大磯町郷土資料館では、2010年度より館主催の講座として「海の森クラブ」を開催している。開始から5年が経過し、貴重なデータが集まってきている。これまでの調査結果については、あらためて機会を設け紹介したいと考えており、本稿では、活動開始の趣旨とともにこれまでの活動概要を紹介する。

大磯町の海藻の調査研究については、1996年発行の『大磯町史 9 別冊 自然』において、高橋昭善氏（以下、高橋氏と記載）が緑藻9種、褐藻22種、紅藻57種の合計88種を記録し、まとめている。また、2004年発行の『相模湾の海藻』では、松浦正郎氏（以下、松浦氏と記載）が緑藻11種、褐藻15種、紅藻89種、合計115種をまとめている。以上の2冊の海藻目録はあるが、近年、大磯町における海藻の調査は行なわれていない。そこで、現状の藻類相の把握を目的として、「海の森クラブ」の活動を開始した。

「海の森クラブ」参加者募集の周知は『広報おおいそ』や直接、海藻に興味をお持ちの方に声掛けをして進めた。日ごろから海辺の自然に親しんでいる町外のダイバーや海藻おしばづくりを趣味にしている人たちから応募があったが、町内在住者からはなかった。当館の自然分野のワークショップでは、他に「草と木の調査（現在、大磯自然観察会に名称変更）」の活動があり、町内在住の方々が多く参加している。そのため自然に興味を持っている方が多いと考え、町内在住の方々に対しても反響があるだろうと思っていたが、予測に反した出発であった。

参加者が少ない理由を考えてみたところ、海の生き物観察会では、岩肌につくヒザラガイや隙間に隠れているカニやエビ、潮溜まりに泳ぐ魚など動く生

物に目が向く。ビーチコーミングにおいては、貝殻やシーグラス、流木など、各々興味のある物や漂着物でもきれいそうな物に目が向く。海藻は普段、食卓に並ぶが、実際に海岸で観察する機会は少ない。私自身、磯観察会で海藻の解説をした時に、「これ海藻なんですか？」という声をよく耳にする。食材として見られても、海の植物という認識は薄いように感じる。海藻に関心を持っていただきたいということも、活動開始の一因といえる。また、調査活動とは別に一般の方でも海藻観察に親しめるように、室内で行なう海藻おしばづくりを並行して実施し、普及に努めることにした。

2. 活動内容について

2-1. 定点観察

定期的な海藻の観察を行なっている。海藻は、通年観察できる種類もあるが、多くは低水温の時期に生長が見られる。生長した海藻は、夏に枯れ岩肌から剥がれ、浜辺に漂着するものが多い。このため、活動のサイクルは海藻の生長に合わせて11月から翌年7月までとした。

高橋氏は海藻の分布調査の実施に際し、方形枠を使って垂直及び水平分布の状況をまとめている。同様の方法で進めようとするも照ヶ崎海岸の岩礁は、満潮時はほぼ全体が水没し、秋から早春にかけては、大潮の干潮時でも岩場まで渡ることが難しい。春から初夏に掛けての大潮の干潮時でも奥の岩場まで渡ることがやっとである。

試行錯誤の活動の中で、海藻を専門的に調査研究している相模湾海藻調査会の会員による方形枠を使っての海藻群落測定調査を見学する機会を得た。記録の精度という点で、感心したが、ワークショップの活動時間、また、一般の方の調査に対する親しみやすさという点で、いつでも誰でも気軽にできる目視で記録に残すことにした。



図1 海藻観察の様子



図2 海藻おしばづくりの実施の様子

(* 当館臨時職員・自然観察指導員)

2-2. 海藻おしばづくり

海藻は、海環境にとって重要な役割をしていることと伝えているために、一般の方々を対象に、海藻おしばづくりを実施することにした。実施にあたっては、海藻おしば協会に全面的にご協力いただいた。

3. 各年度の活動概要

3-1. 2010 年度の活動概要

『広報おおいそ』で参加者を募るとともに、県内の海藻おしば協会員に呼びかけた。町外在住者がほとんどであったが、6 人のメンバーで活動を開始した。他の郷土資料館のワークショップの活動日を鑑み、定例の活動日を平日とした。毎回、参加者全員が参加できるとは限らず、情報の共有を図るため『海の森通信』を発行した（図3 参照）。

5 月から7月の第3木曜日に、照ヶ崎海岸の磯観察、漂着海藻の観察を実施するとともに、同地で採集した海藻のおしば標本づくりを行なった。海藻があまり見られなくなる8月、9月は、体調を考慮し、活動を休止とした。10月以降は翌年3月に予定されていた企画展「大磯町の海辺の自然」の準備にあてた。海藻に関する資料が十分に揃っていない中、企画展の準備を進めることにしたのは、将来、海藻をテーマに企画展を開催する際、こういった手順で、こういった資料が必要かを把握することを目的としたことによる。企画展「大磯町の海辺の自然」における海藻の展示スペースは企画展示室の一部であったが、小テーマの構想、資料抽出、展示資料の制作の後、標本24種の列品を行なった。

企画展の来館者アンケートの結果では、「海藻の種類数が多いことに驚いた」「海藻を初めて綺麗だと感じた」「海藻おしばを作ってみたい」という意見が多く活動の励みになった。

3-2. 2011 年度の活動概要

活動日は毎月第3木曜日とした。2年目は、まず大磯町の海岸全域を巡回し、海藻漂着状況の掌握に努めた。状況が分かってからは、照ヶ崎海岸を中心



図3. 海の森通信

に定点観察を行なうとともに採集した海藻の標本づくりを進めた。10月には海藻観察の普及のため、海藻おしばづくり体験講座を開催した。『広報おおいそ』と郷土資料館のポスター掲出により、参加者を募り、参加人数は10人（大人4人、子ども6人）だった。実施内容は、おしばづくりという作品づくりだけではなく、大磯町の海藻の状況や海の環境保全について解説し、あわせて当ワークショップのPRを図った。参加者は海藻をテーマにした活動に初めて参加される方ばかりであったが、一様に楽しまれている様子が見られた。

3-3. 2012 年度の活動概要

3年目に入り、定点観察する中で、新しい発見がいくつもあった。特に海藻の生長は想像以上に早いことが分かった。

活動日は、これまでと同様に毎月第3木曜日とした。より詳細な調査を進めるべく、岩礁の表面で見られる海藻をくまなく記録を取るようにしたが、活動日が満潮時間と重なることもあった。図4と図5



図4. 干潮時の照ヶ崎の岩場



図5. 満潮時の照ヶ崎の岩場

表 1. 2013 年度の調査結果（一部抜粋）

	名前	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	マルバアマノリ	○	○	△								△	○
2	ヒラアオノリ	○										△	△
3	ボタンアオサ	○	○	△		△	△					△	○
4	ヒトエグサ	○	○	○	△							△	○
5	アナアオサ	○	○	○	○							△	○
6	ピリヒバ	○	○	○	○	○	○					○	○
7	ウシケノリ	○	○	△	△								
8	ハバノリ	○	○	△	△							△	
9	ツヤナシシオグサ(?)	○		△									
10	ヒジキ	○	○	○	○	○	△					○	○
11	シワノカワ	○	○	○	○	△	△					○	
12	カヤモノリ	○	○	△								△	△
13	ワカメ（幼体～成体）		○	○	△	漂	○						
14	ウミウチワ	○	○	○	○	○	○					○	
15	フシツナギ			漂	○	○	△						
16	ヒラムカデ	○	○	○	○	○	△						
17	イソダンツウ		○	○	○	○	△					△	
18	コメノリ				○	○	△						
19	ツノマタ		△	△	○	○	△						
20	クロソヅ		○	○	○	○	△						
21	エチゴカニノテ		○	○	○	○	○						
22	オオブサ				○	○	△					漂	漂
23	カイノリ	○	○	○	○	○	△						
24	アラメ		△	△	漂	漂	○					漂	漂
25	ツルツル	△	○	○	○	漂						△	△
26	フクロノリ				△		△						
27	ヒメテングサ				△	△	△						
28	ヒラクサ				△	△	△						
29	アカモク		漂	漂	○	○	○						
30	イシゲ	○	○	○	○	○	△					△	
31	トサカマツ		△		△	○	○					△	
32	フトジュズモ		△	漂	漂	○	○						
33	ツノムカデ		△	—	△	○	○						
34	オオバツノマタ		△	—	△	○	○						
35	ショウジョウケノリ		△	○									

表の見方

○：多い △：少ない 漂：漂着海藻あり

は干潮時と満潮時の照ヶ崎海岸の様子である。満潮時は、地先の磯にわたることが難しい。その場合は漂着している海藻のみの観察になった。これまでと同じ方法で調査を進めていたが、年度途中で参加者と調査方法について、意見交換をし、活動日を潮汐表の潮位が低い日に設定することにした。不定期開催となったため、定例会に参加できる人数が少なくなったが、データ収集を優先させて活動を進めた。時期によって変化する海藻の様子を記入できるよう記録用紙を作成した。

海藻おしばづくりは、2011年度と同様に10月に開催した。前年度に比べ、参加者人数が増え15人であった。子供から大人まで幅広い年齢層に対し、体験学習をすることができた。

3-4. 2013年度の活動概要

4年目になり、新たな参加申込みがあり、参加人数が増えた。

継続参加している参加者は、前年同時期に観察できていた海藻が生長していないこと、種類によっては逆に前年より多く見られることなど、経験を振り返りながら観察ができるようになった。地道な調査活動を進めるうえでの楽しみ方をマスターされたようである。

また、2015年度の自然分野の企画展として、海藻をテーマとした展示構想を練り始めたことで、より目標が明確となり、更に知識を深めようとする気運が高まった。そうしたことから、同年よりワークショップ参加者それぞれが、興味を持った海藻の生息場所、特徴、食材であれば利用方法などを調べ、『海の森通信』に掲載するようになった。

継続的に開催している海藻おしばづくりでは、開催時期を小学生の夏休みの自由研究に活用できるように夏休み期間に変更した。10月開催より大幅に参加者が増え、70人の参加があった。夏休み期間中で、自由研究に活用できるということもあり、町内の親子参加も多かった。終了後の参加者アンケートでは「海をよごすと海藻が消えてしまうので、あらためて海を大切にしないといけないと思った。」「海の近くに住んでいるので自然の大切さを学べて良かつ

た。」「とても楽しかった。来年も参加したい。」など企画に対する好意的な意見が多く、指導にあたったワークショップ参加者の励みになり、活動意欲が高まる結果になった。

4. 今後の活動のまとめ

22年度からスタートした「海の森クラブ」は、現在も模索しながら活動を継続している。参加人数は少人数であるが、同じ場所を定期的に観察することで、参加者は海藻に関する知識の積み重ね、また、新しい発見を楽しんでいる。

現在、目録作成を進めているが、海藻の同定の難しさに直面している。海藻は同じ遺伝子であっても地域や場所によって形が変わると言われている。本来正確な目録を作成するためには、顕微鏡や遺伝子解析レベルが求められるが、広く一般の人たちでも、楽しみながら行なえる調査活動を今後も進めたいと考えている。

現在の「海の森クラブ」参加者は、日頃から海辺の自然に親しんでいる人たちであるが、海藻おしばづくりのように、幅広い年齢層の方に興味をもって参加していただける環境づくりを考えていきたい。

現在の観察記録は、過去に報告されている高橋氏、松浦氏の種類数に劣るが、52種類の海藻を記録している。同定にあたっては図鑑や海藻関連の勉強会に参加することで知識を深めてきた。大磯町史で高橋氏の記述によると、谷口(1987)の調査では、大磯照ヶ崎海岸の海藻相は「カイノリーネジモク群が形成される」とある。現在では、毎年岩を覆い尽くすほどのヒジキ群、アラメ群が観察できている。これまでの藻類相の推移は分からないが、今後、活動を地道に続けることで、海岸環境の変化を示す根拠資料を残せるものと考えている。

5. 参考文献

- 高橋昭善(1996)「4 海藻」『大磯町史9 別編 自然』大磯町
- 谷口森俊(1987)『極東の海藻植生学的研究』井上書店
- 松浦正郎(2004)『相模湾の海藻』箱根博物館

年 報

平成 26 年度

◇ 平成 28 年 3 月 29 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660